

第 64 回 定例理事会

議 事 録（正）

令和 5 年 4 月 19 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第 64 回 定例理事会 議事録（正）

日 時：令和 5 年 4 月 19 日（水）10:30～12:14

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
永井 烈 副会長（事業担当）、
内池 善蔵 副会長（財務担当）、
西村 岩夫 副会長（総務担当）、
中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）

Web 出席理事：西 豊彦 理事（コンプライアンス担当）
小川 幹雄 理事（国際渉外担当）、青野 時彦 理事
西奈美 博 理事、長谷川 祥久 理事、森 健輔 理事

欠席理事：宮丸 正人 理事

出席監事：尾澤 輝行、間瀬 勝一

有効理事総数 12 名、出席理事 11 名、欠席理事 1 名
出席率 91.7% 監事 2 名、事務局（1 名）、計 13 名

議事録署名人（書記）永井 烈

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12 名中、11 名の出席、監事 2 名、事務局（1 名）にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 永井 烈 副会長 |
| 3) 財務報告 | 内池 善蔵 副会長 |
| 4) 総務報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

第 1 号議案	令和 4 年度事業報告承認の件	資料-1
第 2 号議案	令和 4 年度収支決算報告承認の件	資料-2
第 3 号議案	令和 5 年度通常総会議事次第承認の件	資料-3
第 4 号議案	正会員 A パナソニック(株)エレクトリックワークス社 宮丸 正人 氏 理事交代を総会の審議事項に諮る件	資料-4
第 5 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ(株) 内池 善蔵 氏 理事交代を総会の審議事項に諮る件	資料-5
第 6 号議案	職員給与手当について	資料-6
第 7 号議案	賛助会員 B 黒澤 一臣 氏 会員資格喪失の件	資料なし
第 8 号議案	賛助会員 B 秋月 宏文 氏 退会の件	資料-7
第 9 号議案	Mayr Japan(マイヤー・ジャパン)合同会社 賛助会員 A 入会の件	資料-8
第 10 号議案	正会員 A (株)松村電機製作所 岩澤 啓二 氏 照明部会退部の件	資料-9
第 11 号議案	正会員 A (株)松村電機製作所 竹谷 俊樹 氏 照明部会入部の件	資料-10
第 12 号議案	正会員 B (株)シアターワークショップ 川上 二郎 氏 映像部会入部の件	資料-11
第 13 号議案	賛助会員 B 秋月 宏文 氏 機構部会退部の件	資料-12
第 14 号議案	第 29 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件	資料-13
第 15 号議案	Inter BEE 2023 協力名義の使用許可お願いの件	資料-14
第 16 号議案	(株)日建設計 正会員 B 入会の件	資料-15
第 17 号議案	池上通信機(株) 大久保 亜美氏 賛助会員 B 入会の件	資料-16
第 18 号議案	池上通信機(株) 大久保 亜美氏 映像部会入部の件	資料-17
第 19 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ(株) 内池 善蔵 氏 機構部会退部の件	資料-18
第 20 号議案	賛助会員 A イグス(株) 杉田 芳博 氏 照明部会退部の件	資料-19
第 21 号議案	賛助会員 A イグス(株) 長谷川 信春 氏 照明部会入部の件	資料-20
第 22 号議案	賛助会員 A イグス(株) 杉田 芳博 氏 機構部会退部の件	資料-21
第 23 号議案	賛助会員 A イグス(株) 長谷川 信春 氏 機構部会入部の件	資料-22

5. その他

- 1) 第 65 回定例理事会開催日程 (8 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が永井 烈 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 63 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 5 年 3 月 30 日（木）14:00～ 第 82 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 4 月 13 日（木）14:00～ 第 83 回事業執行連絡委員会を開催した。

2) 事業報告

永井 烈 副会長（資料-1、各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料及び資料-1 を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・令和 5 年 3 月 20 日に高崎芸術劇場大劇場にて見学会を実施した。

1 グループが 1 時間 30 分で回る見学コースを 2 回に分け行った。参加者数は 1 回目が 20 名、2 回目が 18 名、計 38 名であった。

建築部会では、

- ・劇場のガイドラインについて、東京都が火災予防条例の改正を予定しているため、JATET に意見を求められた際には回答できるよう、具体的な改訂事項を用意しておく。
- 法規については建築基準法や興行場法が消防法に絡んでいるものもあるので、その事も含めた洗い出しを行っていく。
- ・ABTT のガイドラインを基に、読み合わせから始め、ガイドラインを作成する。

機構部会では、

- ・未来の駆動部については、モーターの製造メーカーの工場見学を予定している。
- ・点吊り装置の調査は、各資料の収集を行っている。

照明部会では、

- ・L-7190 の規格更新に向け、協議をすすめている。
- ・EMC 研究会にて、電磁ノイズに関する実験内容を検討している。

音響部会では、

- ・日本舞台音響家協会より、JATET フォーラム 2022/23 のセミナー内容を日本舞台音響家協会誌への掲載について問合せがあった。
- これまでは JATET フォーラムに参加し協会誌に記事を掲載していたが、今回は参加できなかったため、5 月以降の WEB 配信の動画を視聴し記事にしても良いかとの事であった。ただし配信まで待っていると執筆の時間が足りないため、音響部会の収録動画を先に渡す事とした。記事内容については、音響部会と事務局で確認し、校正依頼をしている。

映像部会では、

- ・音響、照明、舞台の技術が進歩しており、運営に伴う事が変わりつつあるため、エンジニアリング先行ではなく、今後、全国公立文化施設協会などとディスカッションができると

良いとの意見があった。

広報部会では、前回開催の理事会から大きな動きはなし。

伊東会長より、令和4年度は各部会とも計画された事業予算を行使されていなかったため、令和5年度は積極的に予算を行使し、活動を活発化する事が求められた。

イ. JATET フォーラム 2022/23 について

- ・令和5年3月17日に千代田区立内幸町ホールにおいて、4年ぶりにリアル開催を行った。参加者は98名で、内訳はJATET会員が80名、会員扱いが6名、一般が10名、学生が2名であった。
- ・各部会セミナーは5月以降に有料WEB配信を予定しており、現在、動画の確認中である。

ロ. JATET 誌 92 号について

- ・5月に広告掲載申込依頼書を発送する予定である。
- ・特集テーマは、JATET フォーラム 2022/23 の総括となる。

ハ. JATET ジャーナル 20 号

- ・那覇文化芸術劇場「なはと」を特集としたジャーナル20号は、未提出の原稿があり、引き続き原稿の提出依頼を行う。

3) 財務報告

内池 善蔵 副会長（閲覧資料-財務報告）

- ・毎月、内池副会長、西村副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和4年度のJATET会費未納者は、正会員Cが2名、賛助会員Bが2名であった。内、賛助会員Bの1名は2年間の会費未納となり、除名処分とすべく後ほど審議をお願いする。
- ・令和5年度年会費の請求書は、4月末頃に発送する予定である。
- ・4月3日に尾澤会計事務所の中村氏と事業決算の作業を行った。後ほど令和4年度事業収支決算書の審議をお願いする。
- ・4月13日に尾澤監事と間瀬監事に監査していただいた監査報告書を閲覧する。

4) 総務報告

西村 岩夫 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。
- ・職員給与手当については、後ほど審議をお願いする。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事

- ・OISTATの2023年会費を納付し、領収書を受領した。6月のPQでは、OISTAT本部委員会、およびサブ委員会の委員長改選がいくつかある。
- ・美術委員会、調査研究委員会の他、サブ委員会の衣装、照明、音響の委員長改選がある。
- ・昨年12月15日に韓国政府国民権益委員会のメンバーがJATETを訪問され、泰梨院の群衆事故に関する意見交換を行いその際、DJポリスを紹介した。先日の新聞で、韓国の警察にて雑踏警備にDJポリスが導入されたとの報道があり、見出しに泰梨院の雑踏事故を踏まえ、日本の警備を参考にしたと報道されている。
- ・すでに6台の車両を導入し、4月6日にソウル市内で訓練を実施したようである。
- ・以前、劇場での緊急避難コンサートを韓国KTLでプレゼンをしたが、さっそく韓国政府が取り入れた事を報告した事がある。一昨年にはアジアエンターテイメント安全協議会で、韓国・中国・台湾・シンガポールとJATETの5機関およびイギリス・ドイツ・アメリカが

参加したオンラインによるコロナ禍での活動報告が討議された。協議会からの要望で東京オリンピックの教訓を 20 分程度、英語でプレゼンを行った。
メインテーマはバブルメソッドの成功面と失敗面であったが、半年後には北京冬季オリンピックにおいて無観客ながら完璧なバブルメソッドを中国が完遂した。
このように国際渉外活動も直接的、間接的に役立っていると自己評価している。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

イ. 内閣府情報

- ・令和 5 年 3 月 29 日に「令和 5 年度事業計画書、予算書」の内閣府への申請・届出を完了した。
- ・本日審議いただく「令和 4 年度事業報告書、決算書」は、6 月末までに提出予定である。
- ・内閣府公益法人メールマガジン第 163 号（令和 5 年 3 月 1 日発行）、臨時号（令和 5 年 3 月 6 日発行）、第 164 号（令和 5 年 3 月 15 日発行）、第 165 号（令和 5 年 3 月 24 日発行）、臨時号（令和 5 年 3 月 29 日発行）、第 166 号（令和 5 年 4 月 12 日発行）を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-経済産業省&総務省等）

- ・経済産業省コンテンツ産業課より、自殺対策強化月間、中小企業者の経営上の相談窓口の案内が届いた。
 - ・G7 広島サミット等開催に伴う警備協力について要請依頼があった。
 - ・マイナンバーカードの取得、健康保険証利用申込及び公金受取口座登録の促進について周知依頼が届いた。
 - ・経済構造実態調査の事前周知依頼が届いた。
 - ・企業による人権尊重の促進を図るため、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン、実務参照資料」が届いた。
 - ・外国為替及び外国貿易法に基づく北朝鮮輸出入禁止措置 2 年間延長について周知依頼が届いた。
- 総務省からの情報は特になし。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料なし）

- ・令和 5 年 3 月 1 日に JATET ニュース第 234 号を発行した。
- 主な内容は、JATET フォーラム 2022/23 参加申込受付、高崎芸術劇場大劇場施設見学会申込受付、JATET-M-6010-3「舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針」と JATET-M-6020-2「吊物バトン積載量表示指針」改訂について、高田一郎さんを偲ぶ会について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

- ・賛助会員 B 秋月 宏文 氏 退会（審議事項）
- ・正会員 A ㈱松村電機製作所 岩澤 啓二 氏 照明部会退部（審議事項）
- ・正会員 A ㈱松村電機製作所 竹谷 俊樹 氏 照明部会入部（審議事項）
- ・正会員 A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏 機構部会退部（審議事項）
- ・正会員 B ㈱シアターワークショップ 川上 二郎 氏 映像部会入部（審議事項）

- ・賛助会員 A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 照明部会退部（審議事項）
- ・賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 照明部会入部（審議事項）
- ・賛助会員 A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 機構部会退部（審議事項）
- ・賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 機構部会入部（審議事項）
- ・賛助会員 B 秋月 宏文 氏 機構部会退部（審議事項）
- ・正会員 A パナソニック㈱エレクトリックワークス社 登録内容変更
- ・正会員 A 三精テクノロジーズ㈱ 登録内容変更
- ・賛助会員 A ウシオライティング㈱ 役員交代
- ・賛助会員 A イグス㈱ 登録内容変更

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

- ・高田一郎さんを偲ぶ会の案内状が届いた。
- ・第 29 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募について案内書面が届いた。後ほど審議をお願いする。
- ・Inter BEE 2023 協力名義の使用許可お願いについて書面が届いた。後ほど審議をお願いする。
- ・一般社団法人 緊急事態舞台芸術ネットワーク事務局より業種別ガイドライン（第九版）改訂のお知らせが届いた。
- ・公益社団法人 全国公立文化施設協会より、令和 4 年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業報告書が届いた。
- ・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）より、収集資料の利用法について案内が届いた。
- ・令和 5 年度 公益社団法人 全国公立文化施設協会 研究大会（那覇大会）における協賛事業（ブース展示）への出展について募集の案内が届いた。
- ・芸団協メールニュース：483 号（3/1）、484 号（3/15）、臨時号（3/22）、臨時号（3/30）、485 号（4/3）、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号（4/10）、その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月末までの累計で、505,500 円の売上げがあった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が一般、会員を合わせ多く販売されている。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

劇場等演出空間運用基準協議会、公益財団法人 公益法人協会、公益社団法人 全国公立文化施設協会の年会費、ウェブサイト管理料、JATET ニュース配信料、JATET フォーラム関連のチラシ・セミナー資料編集印刷代、会場設備使用料、パーテーションレンタル料、写真撮影代の請求が届いた。

その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-HP アクセス解析）

JATET ホームページのアクセス解析・・・2 月～3 月までの HP 閲覧状況を資料に示し閲覧した。

- ・2 月のページビュー数は 3,408 件、ページ別訪問数は 2,456 件

- ・3月のページビュー数は4,045件、ページ別訪問数は3,211件であった。
- 3月はJATETフォーラム及び高崎芸術劇場見学会の実施により、閲覧者が増えている。

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・ITEACについて、3月30日に長谷川理事から各部長向けにWEBによる説明を行った。会議の3つのテーマに沿った話題提供に関し、4月24日を期限とし各部会にて検討を行っている。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第1号議案 令和4年度事業報告承認の件

資料-1

中川専務理事より資料-1に基づき、令和4年度事業報告承認の件について、説明があった。

総会の議案書となる令和4年度事業報告書の案とする。まず会議について令和4年度通常総会は令和4年5月26日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面総会として東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2 エッサム神田ホール1号館3階大会議室301号室及びWeb会議方式にて、限られた執行理事と部会長の出席により開催した。

総会での審議事項は全員賛成、反対0名で承認されている。

理事会は、令和4年度において定例理事会を4回、臨時理事会を1回開催し、審議事項はすべて可決承認されている。

事業執行連絡委員会は、月1回、年間12回開催している。

部会報告は各部長から提出された内容を記載し、1)教育研修、2)建築、3)機構、4)照明5)音響、6)映像、7)広報の7部会の順に、令和4年度の活動について報告した。

全体的な事業として、JATETフォーラム2022/23を4年ぶりに有観客として開催した。

JATET誌は、照明部会担当の91号（特集「演出空間用LED照明器具の安全確保のための表示ガイドライン、ホール運用の聞き取り調査」）を発行した。

JATETジャーナルは、今年度発行予定であったVol.20「那覇文化芸術劇場なは一と」を次年度の発行に延期した。

JATETニュースは、第229号から第234号まで計6回発行した。

JATETリーフレットは、WEBサイトに掲載するための改訂を行い、昨年度作成した英語版案について、組織名称等の改訂を行った。

中川専務理事の説明の後、令和4年度事業報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

第2号議案 令和4年度収支決算報告承認の件

資料-2

中川専務理事より資料-2に基づき、令和4年度収支決算報告承認の件について、説明があった。

総会の議案書となる令和4年度事業に係る収支決算報告の案を示す。

貸借対照表において、資産の部は前年度と比較して流動資産が900,000円ほど減り、その他固定資産は1,000,000円ほど減っており資産の合計は約2,000,000円の減となった。負債の部の合計は約250,000円となり、前年度より370,000円ほど減っている。正味財産合計は6,375,706円、負債及び正味財産の合計は6,620,617円となった。

正味財産増減内訳表の経常増減の部、経常収益について、正会員Bに1社、正会員Cに2名、賛助会員Aに1社、賛助会員Bに3名の入会があり、受取入会金は485,000円となった。会費収入は正会員Aが19社、Bが6社、Cが25名、賛助会員Aは26社、Bは32名、特別賛助会員が9団体で、受取会費は14,940,000円となった。

事業収益は、JATET フォーラム 2022/23 を実施し、開催収益は 314,000 円となった。
施設見学会は、高崎芸術劇場大劇場見学会を実施し、開催収益は 80,000 円となった。
発刊物販売収益は 600,820 円となった。
JATET 誌の広告収益は 91 号に 16 社の掲載があり、3,619,000 円の収益となった。

経常費用の事業費について、部会費は 75,191 円となった。JATET 規格作成費は、照明部会の規格を発行、音響部会の規格書を増刷しており 57,200 円となり、JATET フォーラムセミナー開催費は 1,050,296 円となった。
JATET ジャーナルは、20 号を発行予定であったが次年度に持ち越した。

ホームページ運用費、JATET News 発行費はほぼ例年通り、JATET 誌は 91 号の 1 号分の発行となり、2,688,611 円の出費となった。
その他の諸経費を含めて事業費の合計は 15,250,480 円、管理費はほぼ例年通りの内容で 6,413,401 円となり、経常費用の合計は 21,663,881 円となった。
当期経常増減額は、マイナス 1,624,968 円となり、正味財産期末残高は 6,375,706 円となった。

財務諸表に対する注記として、特定資産については令和 4 年度用に特定費用準備金 1,200,000 円を積み立てていたが、令和 5 年 3 月に JATET フォーラム 2022/23 を開催し、取り崩した。
令和 6 年度用の特定費用準備金は積み立てておらず、これにより当期末残高は 2,000,000 円となった。
財産目録は、流動資産が 3,329,058 円、固定資産が 3,291,559 円で資産合計は 6,620,617 円、負債額を引いた正味財産は 6,375,706 円となる。

収支相償については、公益目的事業比率は 50.4%となり、ぎりぎりでも 50%以上を確保している。遊休財産の保有制限についても適合している。

議長より監事監査について意見を求められ、間瀬監事より以下の報告があった。
4 月 13 日に監査を実施し、計算書類、預金通帳などを確認させていただき、記載漏れや不明な点などを確認した。特に大きな問題は無く、適正に運用されていると判断した。

中川専務理事の説明の後、令和 4 年度収支決算報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 令和 5 年度通常総会議事次第承認の件

資料-3

中川専務理事より資料-3 に基づき、令和 5 年度通常総会議事次第の説明があった。

審議事項は下記の通りとする。

- | | |
|---------|---|
| 第 1 号議案 | 令和 4 年度事業報告承認の件 |
| 第 2 号議案 | 令和 4 年度収支決算報告承認の件 |
| 第 3 号議案 | 正会員 A パナソニック(株)エレクトリックワークス社 宮丸 正人 氏
理事解任の件 |
| 第 4 号議案 | 正会員 A 三精テクノロジーズ(株) 内池 善蔵 氏 理事解任の件 |
| 第 5 号議案 | 正会員 A パナソニック(株)エレクトリックワークス社 横井 裕 氏
理事選任の件 |
| 第 6 号議案 | 正会員 A 三精テクノロジーズ(株) 清水 康裕 氏 理事選任の件 |

続いて報告事項は下記の 2 件。

- 第1号報告 令和5年度事業計画の報告の件
第2号報告 令和5年度収支予算の報告の件

西理事より、入会金の扱いについて見直しをした方が良いと提案があった。
今年度の通常総会場で、西理事からご発案をいただき、次回以降の理事会で具体的な議論を進めていくこととする。

中川専務理事の説明の後、令和5年度通常総会議事次第承認について審議に入り、
全員一致で可決承認された。
令和5年5月25日の令和5年度通常総会では、この議事次第通りに進行する。

**第4号議案 正会員 A パナソニック㈱エレクトリックワークス社 宮丸 正人 氏
理事交代を総会の審議事項に諮る件**

資料-4

中川専務理事より資料-4に基づき、正会員 A パナソニック㈱エレクトリックワークス社
宮丸 正人 氏の理事交代を総会の審議事項に諮る件についての説明があった。
同氏がインドへ赴任し、また同社の組織改編により、4月1日付で登録内容変更届が届いた。
宮丸理事に代わり横井 裕 氏が理事を継続し、パナソニック㈱エレクトリックワークス社
の登録代表者及び担当者となる。
役員の選任・解任は社員総会での審議が必要なため、本件を5月25日の通常総会に諮る
よう審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、正会員 A パナソニック㈱エレクトリックワークス社 宮丸 正人
氏の理事交代を総会の審議事項に諮る件についての承認について審議に入り、全員一致で
可決承認された。

**第5号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏
理事交代を総会の審議事項に諮る件**

資料-5

中川専務理事より資料-5に基づき、正会員 A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏の理
事交代を総会の審議事項に諮る件についての説明があった。
同氏が子会社への異動の伴い、4月28日付で登録内容変更届が届いた。
内池理事に代わり清水 康裕 氏が理事を継続し、三精テクノロジーズ㈱の登録代表者及び
担当者となる。
役員の選任・解任は社員総会での審議が必要なため、本件を5月25日の通常総会に諮る
よう審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏の理事交代を総会
の審議事項に諮る件についての承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第6号議案 職員給与手当について

資料-6

中川専務理事より資料-6に基づき、職員給与手当についての説明があった。
令和5年2月開催の第63回定例理事会において、事務局職員の給与手当の見直しが提案
され、具体的な昇給額は事業執行連絡委員会で検討する事となった。
令和5年3月30日の事業執行連絡委員会では、事務局職員は採用以降まったく昇給され
てない事を考慮し、本給の3%~5%の範囲で昇給させる事で意見が一致し、次回の理事
会での審議事項とする事とした。

中川専務理事の説明の後、職員給与手当について審議に入り、本給額の5%分を昇給する

事が、全員一致で可決承認された。

第7号議案 賛助会員B 黒澤 一臣 氏 会員資格喪失の件について 資料なし
中川専務理事より、賛助会員B 黒澤 一臣 氏 会員資格喪失の件についての説明があった。

賛助会員B 黒澤 一臣 氏は、令和3年度及び令和4年度の会費が未納となっている。

定款では、会員の資格喪失について以下のように規定されている。

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1)退会したとき。

(2)成年被後見人又は被保佐人になったとき。

(3)死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である法人及び団体が解散したとき。

(4)1年間以上、会費を滞納したとき。

(5)除名されたとき。

(6)総正会員の同意があったとき。

中川専務理事の説明の後、賛助会員B 黒澤 一臣 氏 会員資格喪失の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第8号議案 賛助会員B 秋月 宏文 氏 退会の件について 資料-7
中川専務理事より資料-7に基づき、賛助会員B 秋月 宏文 氏 退会の件についての説明があった。

令和5年3月8日付の退会届が届いている。

長年、協会に在籍され、機構部会に入部されていた。機構部会の退部については、後ほど審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、賛助会員B 秋月 宏文 氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第9号議案 Mayr Japan（マイヤー・ジャパン）合同会社 賛助会員A 入会の件について 資料-8

中川専務理事より資料-8に基づき、Mayr Japan（マイヤー・ジャパン）合同会社 賛助会員A 入会の件についての説明があった。

令和5年3月10日付の入会申込書が届いている。

ドイツで1897年に創立された産業機械用のブレーキ、トルクリミッター、カップリング等の動力伝達装置を製造販売している会社である。

日本では長きに亘り、代理店を通じ数多くの企業に採用されているようだが、お客様への技術的なサポートとマーケティングの活動強化のため、2002年8月に日本法人が設立された。

中川専務理事の説明の後、Mayr Japan（マイヤー・ジャパン）合同会社 賛助会員A 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第10号議案 正会員A ㈱松村電機製作所 岩澤 啓二 氏 照明部会退部の件 資料-9
中川専務理事より資料-9に基づき、正会員A ㈱松村電機製作所 岩澤 啓二 氏 照明部会退部の件について説明があった。

令和5年3月31日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員A ㈱松村電機製作所 岩澤 啓二 氏 照明部会退部の

件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 正会員 A (株)松村電機製作所 竹谷 俊樹 氏 照明部会入部の件 資料-10
中川専務理事より資料-10に基づき、正会員 A (株)松村電機製作所 竹谷 俊樹 氏 照明部会入部の件について説明があった。
令和 5 年 4 月 1 日付の部会参加申込書が届いている。
第 10 号議案の岩澤 啓二 氏の退部の後任として、竹谷 俊樹 氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、正会員 A (株)松村電機製作所 竹谷 俊樹 氏 照明部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 正会員 B (株)シアターワークショップ 川上 二郎 氏 映像部会入部の件 資料-11
中川専務理事より資料-11に基づき、正会員 B (株)シアターワークショップ 川上 二郎 氏 映像部会入部の件について説明があった。
令和 5 年 3 月 22 日付の部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員 B (株)シアターワークショップ 川上 二郎 氏 映像部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 賛助会員 B 秋月 宏文 氏 機構部会退部の件 資料-12
中川専務理事より資料-12に基づき、賛助会員 B 秋月 宏文 氏 機構部会退部の件について説明があった。
令和 5 年 3 月 8 日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 秋月 宏文 氏 機構部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 第 29 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者推薦の件 資料-13
中川専務理事より資料-13に基づき、第 29 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者推薦の件について説明があった。
公益財団法人ニッセイ文化振興財団より、第 29 回「ニッセイ・バックステージ賞」の公募案内が届いた。舞台芸術を裏から支え、優れた業績を挙げている舞台技術者を表彰する目的で、毎年実施されている。
推薦者を挙げるか、推薦者なしとするか、審議をお願いする。

中川専務理事の説明の後、審議に入り、今年度も「推薦者なし」と回答する事が全員一致で可決承認された。

第 15 号議案 Inter BEE 2023 協力名義の使用許可お願いの件 資料-14
中川専務理事より資料-14に基づき、Inter BEE 2023 協力名義の使用許可お願いの件について説明があった。
Inter BEE2023 は、11 月 15 日～17 日に千葉市幕張メッセにて、また 11 月 6 日～12 月 15 日にオンラインで開催される。協力団体については、無償で展示ブース 1 コマが使用できるので、JATET の活動を広報するとともに、今後の JATET 技術展を Inter BEE 会場で開催する事も考慮し、JATET ブースを設け展示を行いたいと考える。
具体的には、広報部会を中心に検討を進める事とする。

中川専務理事の説明の後、審議に入り、今年度も協力名義の使用を許可すると回答する事、及び会場内に展示ブースを設け広報活動を行う事が全員一致で可決承認された。

第16号議案 ㈱日建設計 正会員B入会の件

資料-15

中川専務理事より資料-15に基づき、㈱日建設計 正会員B入会の件について説明があった。

令和5年4月5日付の入会申込書が届いている。

同社は、建築の設計監理、都市デザイン及びこれらに関する調査・企画・コンサルティング業務を行っている。

中川専務理事の説明の後、㈱日建設計 正会員B入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第17号議案 池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 賛助会員B入会の件

資料-16

中川専務理事より資料-16に基づき、池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 賛助会員B入会の件について説明があった。

令和5年3月31日付の入会申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 賛助会員B入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第18号議案 池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 映像部会入部の件

資料-17

中川専務理事より資料-17に基づき、池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 映像部会入部の件について説明があった。

令和5年3月31日付の部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、池上通信機㈱ 大久保 亜美 氏 映像部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第19号議案 正会員A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏 機構部会退部の件

資料-18

中川専務理事より資料-18に基づき、正会員A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏の機構部会退部の件について説明があった。

令和5年4月28日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員A 三精テクノロジーズ㈱ 内池 善蔵 氏 機構部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第20号議案 賛助会員A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 照明部会退部の件

資料-19

中川専務理事より資料-19に基づき、賛助会員A イグス㈱ 杉田 芳博 氏の照明部会退部の件について説明があった。

令和5年4月12日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 照明部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第21号議案 賛助会員A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 照明部会入部の件

資料-20

中川専務理事より資料-20に基づき、賛助会員A イグス㈱ 長谷川 信春 氏の照明部会入部の件について説明があった。

令和5年4月12日付の部会参加申込書が届いている。

第20号議案の杉田 芳博 氏の退部の後任として、長谷川 信春 氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 照明部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第22号議案 賛助会員 A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 機構部会退部の件 資料-21
中川専務理事より資料-21に基づき、賛助会員 A イグス㈱ 杉田 芳博 氏の機構部会退部の件について説明があった。

令和5年4月12日付の部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A イグス㈱ 杉田 芳博 氏 機構部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第23号議案 賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 機構部会入部の件 資料-22
中川専務理事より資料-22に基づき、賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏の機構部会入部の件について説明があった。

令和5年4月12日付の部会参加申込書が届いている。

第22号議案の杉田 芳博 氏の退部の後任として、長谷川 信春 氏が入部する。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A イグス㈱ 長谷川 信春 氏 機構部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第65回定例理事会開催日程について

第65回定例理事会は令和5年8月24日（木）14時から開催予定とする。

2) 閉会

12時14分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 5 年 4 月 19 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 64 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（永井 烈）	永井 烈	

第 65 回 臨時理事会

議事録（正）

令和 5 年 5 月 25 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

1. 開催日時及び場所

日 時：令和 5 年 5 月 25 日（木）15：30～15：41

場 所：エッサム神田ホール 1 号館 3 階 大会議室 301 号室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2 TEL : 03-3254-8787

2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数：12 名（理事総数 12 名）

会場出席 9 名、WEB 出席 2 名

出席監事数：2 名（監事総数 2 名）

会場出席 2 名、WEB 出席 0 名

欠席理事数：1 名

欠席監事数：0 名

出席理事名：青野 時彦、伊東 正示、小川 幹雄、清水 康裕、永井 烈、

中川 堅司、西 豊彦、西村 岩夫、横井 裕 以上 9 名会場出席

西奈美 博、長谷川 祥久 以上 2 名 WEB 出席

欠席理事名：森 健輔

出席監事名：尾澤 輝行、間瀬 勝一

3. 議事次第

1)開会

2)議長選出

3)議事録記録署名人選出

4)議事

第 1 号議案 清水康裕氏 副会長の選任及び業務担当執行理事の決定の件

5)閉会

4. 議事の経過の概要とその結果

1)開会

定刻 15 時 30 分開会、中川事務局長より

審議に先立ち、当協会の定款第 43 条（定足数） 「理事会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。」の規定に従い定足数を確認した。

理事構成員 12 名中、出席 9 名、WEB 出席 2 名、欠席 1 名で過半数の出席を確認した。

出席監事は 2 名。以上により、本日の第 65 回臨時理事会の成立を宣言した。

2)議長選出

定款第 42 条（議長）で「理事会の議長は、会長がこれにあたる。」と定められており、伊東正示会長を議長に選出。

3) 議事録作成署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い、議事録記録署名人 1 名の選出を行った。

小川 幹雄理事に議事録記録と署名人をお願いした。

小川 幹雄理事は、これを承諾した。

4) 議案の審議

<第 1 号議案 清水康裕氏 副会長の選任及び業務担当執行理事の決定の件>

定款第 27 条（選任）

2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任する。と定めており、この臨時理事会にて直ちに清水康裕氏の副会長、及び業務担当執行理事を決定する必要がある。

令和 5 年度通常総会にて清水康裕氏が理事に選任され、副会長及び財務担当 内池善蔵氏の代わりに清水康裕氏が引き継がれることになった。

副会長の順位は、

理事の職務権限規程第 8 条（副会長）

（2） 会長に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって会長の業務執行に係る職務を代行する。

と定められており、副会長がその順位に従い会長の職務を代行する。

現在、任期途中のため、

副会長（第 1）永井 烈 氏 丸茂電機株式会社/営業部 嘱託

副会長（第 3）西村 岩夫 氏 ヤマハサウンドシステム株式会社/取締役

のお二方に副会長を務めていただいている。

清水康裕氏 副会長（第 2）の選任の決定について、決議を行い全員一致にて可決承認された。

業務担当執行理事について、

定款第 26 条（種類及び定数）

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事を 3 人を限度として、「一般社団・財団法人法」第 91 条第 1 第 2 号に規定する業務執行理事とする。

と定められている。

第 1 副会長は事業担当、第 2 副会長は財務担当、第 3 副会長は総務担当としている。

清水康裕氏 業務担当執行理事（財務担当）の選任の決定について、決議を行い全員一致にて可決承認された。

本日の審議事項は以上とする。次回 8 月の第 66 回定例理事会の日程を確認した。

8 月 24 日 木曜日 14:00～ JATET 会議室にて開催

5) 閉会

15 時 41 分 中川事務局長が閉会を宣言し終了した。

令和5年5月25日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第65回臨時理事会

役職

署名

捺印

青野 時彦 理事

青野 時彦

印



伊東 正示 理事

伊東 正示



小川 幹雄 理事

小川 幹雄

印



清水 康裕 理事

清水 康裕

印



永井 烈 理事

永井 烈



中川 堅司 理事

中川 堅司



西 豊彦 理事

西 豊彦

印



西奈美 博 理事

西奈美 博



西村 岩夫 理事

西村 岩夫



長谷川 祥久 理事

長谷川 祥久

印



森 健輔 理事 (欠席届-同意書有)

印

横井 裕 理事

横井 裕



尾澤 輝行 監事

尾澤 輝行



間瀬 勝一 監事

間瀬 勝一



第 66 回 定例理事会

議 事 録（正）

令和 5 年 8 月 24 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第 66 回 定例理事会 議事録（正）

日 時：令和 5 年 8 月 24 日（木）14:00～15:50

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
永井 烈 副会長（事業担当）、
中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）
横井 裕 理事

Web 出席理事：清水 康裕 副会長（財務担当）、
西村 岩夫 副会長（総務担当）、
西 豊彦 理事（コンプライアンス担当）
小川 幹雄 理事（国際渉外担当）、
青野 時彦 理事、西奈美 博 理事、長谷川 祥久 理事

欠席理事：森 健輔 理事

出席監事：尾澤 輝行（Web）、間瀬 勝一

有効理事総数 12 名、出席理事 11 名、欠席理事 1 名
出席率 91.7% 監事 2 名、事務局（1 名）、計 13 名

議事録署名人（書記） 西 豊彦

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12 名中、11 名の出席、監事 2 名、事務局（1 名）にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 永井 烈 副会長 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

第 1 号議案	(株)佐藤総合計画 正会員 B 入会の件	資料-1
第 2 号議案	山下 修氏 賛助会員 B 入会の件	資料-2
第 3 号議案	衛藤 達徳氏 賛助会員 B 入会の件	資料-3
第 4 号議案	賛助会員 B 吉本 光宏氏 退会の件	資料-4
第 5 号議案	賛助会員 B 今成 歩氏 退会の件	資料-5
第 6 号議案	賛助会員 A ウシオライティング(株) 佐々木 光一氏 映像部会入部の件	資料-6
第 7 号議案	賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山下 修氏 音響部会退部の件	資料-7
第 8 号議案	賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山田 伸氏 音響部会入部の件	資料-8
第 9 号議案	賛助会員 B 衛藤 達徳氏 映像部会入部の件	資料-9
第 10 号議案	Inter BEE 2023 ブース出展による広報活動の件	資料-10
第 11 号議案	JATET フォーラム 2022/23 午前の部のプログラム公開の件	資料-なし
第 12 号議案	ITEAC2023 JAPAN 告知、協力依頼の件	資料-11
第 13 号議案	(株)梓設計 正会員 B 入会の件	資料-12
第 14 号議案	堀川 知行氏 賛助会員 B 入会の件	資料-13
第 15 号議案	堀川 知行氏 建築部会入部の件	資料-14
第 16 号議案	賛助会員 B 山下 修氏 音響部会入部の件	資料-15

5. その他

- 1) 第 67 回定例理事会開催日程 (11 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が西 豊彦 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 64 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 5 年 5 月 11 日（木）14:00～ 第 84 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 6 月 22 日（木）14:00～ 第 85 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 7 月 28 日（金）14:00～ 第 86 回事業執行連絡委員会を開催した。

2) 事業報告

永井 烈 副会長（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ 6 月 20 日に「やまぎん県民ホール」で見学会を実施し、申込者 60 名中 55 名が参加した。コロナウイルスが蔓延する前に見学会を予定していたが中止となり、3 年ぶりに開催できた。また、見学者アンケートを実施し、非常に好評を得て無事終了することができた。
- ・ 今年度の見学会候補先として「岡山芸術創造劇場ハレノワ」「有明ガーデンシアター」を計画している。

建築部会では、

- ・ 消防法関連について、他部会にも関係があるため、問題にすべきポイントを明らかにしてまとめていきたい。

機構部会では、

- ・ 各研究会の進捗については、未来の駆動部、ライトブリッジ・バトン比較研究、点吊り装置についての調査研究、JATET-M-4010 舞台機構で操作使用される用語と操作ボタンの配置について議論を行った。
- ・ 9 月 17 日に開催される英国演劇技術協会 ABTT ITEAC 国際会議場へノミネートしコンテンツを作成し提出した。

照明部会では、

- ・ L-7190 の改定について、具体的な作業を進めていく段取りまで話が進んでいる。
- ・ EMC 研究会では、EMC のセンターピンのインカムのノイズについても議論を行った。

音響部会では、

- ・ 劣化診断の調査研究テーマが、ここ 3 年手つかずの状態にあるため、このテーマは一旦中止とし他の課題を進めていく。
- ・ 照明部会の EMC 研究会への協力は、ピンスポット付近で使用するインカムのノイズについて、照明部会の役野部会長から依頼された実験に使用するインカムの機種選定を行った。

映像部会では、

- ・ 9 月 17 日に開催される英国演劇技術協会 ABTT ITEAC 国際会議場へノミネートしコンテンツ

を作成し提出した。

- ・研究会では、「劇場メディアの拡張性」「劇場 WIFI 運用について」議論を進めている。

広報部会では、JATET 誌 92 号の誌面構成、編集を進めている。今号より表紙も以前のように写真を使い、新たに「会員訪問」「施設見学会レポート」を誌面に加えた。まずは、会員訪問先として森平舞台機構様へ訪問し記事にした。

- ・やまぎん県民ホールのアンケートを作成し、まとめた。

イ. JATET フォーラム 2022/23 について

・現在、2023 年 3 月 17 日に内幸町ホールにて約 4 年ぶりにリアル開催した「JATET フォーラム 2022/23」をイープラス「Streaming+」にてアーカイブ配信中。当日午後の部の技術系 5 部会（建築・機構・照明・音響・映像）によるプログラムの配信となっている。

- ・視聴可能期間：2023 年 6 月 26 日（月）10：00 ～9 月 23 日（土）23：59

- ・内容：映像部会：劇場導入プロジェクションの要件について
音響部会：舞台連絡設備の管理と運営について
機構部会：バトン形状の調査・研究について
照明部会：舞台照明に関わる電磁ノイズの影響について
建築部会：地域文化施設の次代のキーワードを探る

- ・料金：各部会 1 コンテンツ視聴券：1,000 円

まだ、視聴されている人数が少ないので、理事の皆様からも社員の方々などに声かけいただき、多くの皆様に視聴いただくよう広報をお願いしたい。

ロ. JATET 誌 92 号について

- ・広告掲載申込は最終的に 17 社となり、現在、9 月中旬の発行に向け編集集中。

ハ. JATET ジャーナル 20 号

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は未提出の原稿があり、引き続き、原稿提出依頼を進めている。

ニ. Inter BEE 2023 ブース使用について

- ・11 月 15 日（水）から 17 日（金）の 3 日間、幕張メッセにおいて協会事業活動の広報を目的として展示ブース 1 小間使用予定。広報活動の内容については、後ほどの審議とする。

JATET 誌 92 号の会員企業訪問については、将来個人会員訪問の可能性もあるので、「企業」を取って「会員訪問」として欲しい。（西）

JATET は部会毎に研究活動を行っているが、今年度は新しい動きとして部会を超えた部分で色々と審議していきたいと思っている。既に、ITEAC では建築部会が窓口であったが、映像部会や機構部会の参加により部会を超えた活動になっている。建築部会の消防法関連では、東京都の消防庁が今年度調査業務を出しており、シアターワークショップがその業務を請けている。各部会のメーカーの方などにも意見を出していただいてまとめていけると良い。部会の中の活動だけではなく、部会を超えた JATET の動きとして取り組んでいきたいので、協力をいただきたい。（伊東）

3) 財務報告

清水 康裕副会長（閲覧資料-財務報告）

- ・毎月、西村副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認を

しており問題はない。

- ・令和5年度の会費請求書納入締切日を7月31日までとしていたが、現時点で正会員B1社、正会員C5名、賛助会員A1社、賛助会員B4名が未納となっている。未納者には再請求書をお送りする。

4) 総務報告

西村 岩夫 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。
- ・職員及びアルバイトの勤務表を見直し、アルバイトは休憩時間を45分とする内容で労働通知書を再作成した。その他、特に問題等はなし。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事

・前回の理事会以降、6月8日～18日にプラハにおいてOISTATのPQ2023が開催され参加した。会期中の11日～15日にOISTATの本部会議が並行して開催され、これも出席した。会議では日本センターの高田会長の逝去と当面、小川副会長が会長代行を務めている旨を報告した。現会長のアビー・コーヘン氏、ヘッドクォーター専務理事のワン・ジュイン・ウェイ氏、前会長のバート・ディターマン氏とも個別に対談することが出来た。特に、現会長のウクライナ侵攻に対する声明と、前会長のコロナ禍での声明を掲載したOISTAT日本センターのニュースを手渡すと、とても喜んでくれた。広報委員会にも進呈してある。

以前の会長マイケル・ラムザー氏夫妻とも旧交を温めることができた。アジア・エンターテイメント安全協議会の台湾代表メンバー達とも話し合いを持った。2年前にオンライン会議での東京オリンピックのプレゼンを覚えていてくれて先方から挨拶された。旧知の皆さんやニューフェイスの方とも交流が出来、充実した会議参加になったと思う。

会議と併せて、パフォーマンスデザイン委員会と調査研究（リサーチ）委員会の委員長改選が行われた。パフォーマンスデザイン委員会の委員長には、インドの男性候補ディネッシュ・ヤダフ氏が当選された。舞台照明家であり、以前のセノグラファー委員会から通しても、初めての舞台美術家以外の委員長が誕生したことになると思う。調査研究（リサーチ）委員会はオーストラリアの若手の女性候補テッサ・リクソン氏が僅差で当選した。

他にサブ委員会の衣装、照明、音響の委員長も改選が行われた。各委員会会議では様々な課題が討議された。建築委員会主催の国立オペラ劇場見学会バックステージツアーにも参加することができた。詳細はOISTATニュースその他で報告する。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・報告事項なし

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-内閣府情報）

- ・6月27日に劇場等演出空間運用基準協議会の総会が開催され、中川事務局長が出席した。

主な内容は、2022年度の事業報告と決算、2023年度の事業計画と予算の説明、JATETに関連するものとして、ガイドラインの改訂についての説明があった。2017年に大きな改訂を行った「劇場等演出空間の運用及び安全に関するガイドライン」の改訂にあたり、昨年度末に協議会メンバーに改定案、意見が求められ、JATETからも各部会に確認の上、改定案を提出している。今後、具体的な改訂の作業に入り、今年度中には改訂版を発行する計画で検討を始めた。検討の進捗に応じてJATETにも意見を求められることになるので、各部会の協力をいただきたい。

イ. 内閣府情報

- ・6月30日に「令和4年度事業報告書・決算書」の届出を済ませた。
現在確認いただいていると思うが、今のところ修正などの指摘の連絡は無い。
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第167号(4/26)、臨時号(4/28)、第168号(5/17)、第169号(5/31)、臨時号(6/2)、第170号(6/14)、第171号(6/28)、臨時号(7/5)、第172号(7/12)、第173号(7/26)を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等 中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-経済産業省&総務省等)

- ・経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、北朝鮮関連の懸念船舶リストの更新について、新型コロナウイルス感染症に関して情報提供について、個人情報の適正な取扱いに関する周知等のご協力について、令和5年度税制改正を踏まえたインボイス制度について、「マナビDX Quest (デラックス・クエスト)」受講生募集について、ISSB公開草案2件について、夏の電力需給対策への対応について、令和5年度DX(デジタルトランスフォーメーション)投資促進税制について、運輸安全マネジメント制度の周知について書面が届いた。
- ・熱中症対策の一層の強化について協力依頼が届いた。
- ・総務省より、科学技術研究調査の実施依頼が届き、オンラインで回答した。
- ・国税庁より、消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)について案内が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料なし)

- ・5月19日に第236号を発行した。主な内容は、令和5年度JATET通常総会5月25日(木)開催、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)施設見学会、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
- ・5月29日に第237号を発行した。主な内容は、令和5年度JATET通常総会5月25日(木)開催報告、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)施設見学会申込受付中※法人企業の皆様へ申込人数変更のお知らせ、JATET誌92号 広告掲載 募集(募集締切:7月14日(金))、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
- ・6月27日に第238号を発行した。主な内容は、JATETフォーラム2022/23 アーカイブ配信開始、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)施設見学会開催報告、JATET誌92号 広告掲載 募集中(募集締切:7月14日(金))、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
- ・8月1日に第239号を発行した。主な内容は、JATETフォーラム2022/23 アーカイブ配信中、InterBEE2023JATET出展ブースのお知らせ、JATET事務局夏季休業のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-会員情報)

- ・(株)佐藤総合計画 正会員B入会(審議事項)
- ・山下 修氏 賛助会員B入会(審議事項)
- ・衛藤 達徳氏 賛助会員B入会(審議事項)
- ・賛助会員B 吉本 光宏氏 退会(審議事項)
- ・賛助会員B 今成 歩氏 退会(審議事項)
- ・賛助会員A ウシオライティング(株) 佐々木 光一氏 映像部会入部(審議事項)
- ・賛助会員A (株)オーディオブレインズ 山下 修氏 音響部会退部(審議事項)
- ・賛助会員A (株)オーディオブレインズ 山田 伸氏 音響部会入部(審議事項)
- ・賛助会員B 衛藤 達徳氏 映像部会入部(審議事項)
- ・賛助会員B 山下 修氏 音響部会入部(審議事項)
- ・正会員A (株)NHKアート 会員登録内容変更(代表者変更)

- ・正会員 A 三精テクノロジー(株)役員就任のお知らせ
- ・正会員 A 東芝ライテック(株)役員就任のお知らせ
- ・賛助会員 A ウシオライティング(株) 会員登録内容変更(代表者変更)
- ・賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 会員登録内容変更(代表者・担当者変更)
- ・賛助会員 A 白川舞台機構(株) 千葉営業所開設のお知らせ
- ・賛助会員 A カヤバ CS(株) 役員就任のお知らせ
- ・賛助会員 A ライティングビッグワン(株) 役員就任のお知らせ
会員登録内容変更(代表者・担当者変更)
- ・賛助会員特別 (株)スペース・ゼロ 会員登録内容変更(団体名・担当者変更)
- ・賛助会員 B 中川 浩一氏 会員登録内容変更
- ・(公財)札幌市芸術文化財団 札幌市民交流プラザ 館長交代

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事(閲覧資料-諸団体情報)

- ・世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児より事業報告書が届いた。
- ・一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク事務局より「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の廃止についてお知らせが届いた。
- ・舞台技術講座 48th Technical Theatre Training Program (主催：(公財)せたがや文化財団 8/24～27 日開催) 開催案内が届いた。
- ・全国舞台テレビ照明事業協同組合より事務所移転、役員変更のお知らせが届いた。
- ・一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本舞台音響家協会より役員就任のお知らせが届いた。
- ・一般社団法人日本舞台技術スタッフ団体連合会より事務所移転のお知らせが届いた。
- ・(株)俳優座劇場、(株)劇団民藝、(一社)日本舞台美術家協会 役員変更のお知らせが届いた。
- ・ProLight & ProVisual2024 事務局より、「ProLight & ProVisual2024」出展案内が届いた。
- ・芸団協メールニュース：486 号(4/17)、487 号(5/1)、488 号(5/15)、臨時号(5/18)、臨時号(5/22)、489 号(6/1)、490 号(6/15)、臨時号(6/26)、491 号(7/3)、臨時号(7/10)、492 号(7/18)、493 号(8/1)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：140 号(4/17)、141 号(5/15)、臨時号(5/25)、臨時号(6/1)、142 号(6/20)、143 号(7/14)、臨時号(8/1)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事(閲覧資料-書籍販売状況)

規格販売状況(別紙資料参照)

- ・2023 年 8 月 20 日時点までで 125,000 円の売上があった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術 CD が一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事(閲覧資料-請求書情報)

- ・テトラロジックスタジオより総会議案書、JATET ニュース配信、ウェブ管理更新料、JATET フォーラム 2022/23 記録編集代、Vimeo 契約料、ヤマト、佐川急便の請求が届いた。
- ・その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-HP アクセス解析）

JATET ホームページのアクセス解析・・・4月～6月までのHP 閲覧状況を閲覧した。

- ・4月のページビュー数は2,839、ページ別訪問数は2,216
- ・5月のページビュー数は3,280、ページ別訪問数は2,485
- ・6月のページビュー数は3,575、ページ別訪問数は2,648

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・ABTT-ITEAC 提出動画等進捗状況について、映像部会から1件、機構部会から2件、合計3件のコンテンツを提出した。

4. 審議事項

第1号議案 (株)佐藤総合計画 正会員B入会の件

資料-1

中川専務理事より資料-1に基づき、(株)佐藤総合計画 正会員B入会の件についての説明があった。

令和5年5月11日付で、正会員Bへの入会申込書が届いている。

建築の設計監理、都市デザイン及びこれらに関連する調査・企画、コンサルティング業務を行っている。

中川専務理事の説明の後、(株)佐藤総合計画 正会員B入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第2号議案 山下 修氏 賛助会員B入会の件

資料-2

中川専務理事より資料-2に基づき、山下 修氏 賛助会員B入会の件について説明があった。

令和5年5月19日付で入会申込書が届いている。

賛助会員A (株)オーディオブレインズに所属されていたが退職され、個人会員として入会を申し込まれた。

中川専務理事の説明の後、山下 修氏 賛助会員B入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第3号議案 衛藤 達徳氏 賛助会員B入会の件

資料-3

中川専務理事より資料-3に基づき、衛藤 達徳氏 賛助会員B入会の件について説明があった。

令和5年7月8日付で入会申込書が届いている。

長年、弱電・映像設備の仕事を経験し、現在はメーカー系映像技術会社で勤務されており、システム設計と施工管理をされている。

中川専務理事の説明の後、衛藤 達徳氏 賛助会員B入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 賛助会員 B 吉本 光宏氏 退会の件

資料-4

中川専務理事より資料-4に基づき、賛助会員 B 吉本 光宏氏 退会の件について説明があった。

令和 5 年 3 月 31 日付をもって退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 吉本 光宏氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 賛助会員 B 今成 歩氏 退会の件

資料-5

中川専務理事より資料-5に基づき、賛助会員 B 今成 歩氏 退会の件について説明があった。

令和 5 年 3 月 31 日付をもって退会届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 今成 歩氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 6 号議案 賛助会員 A ウシオライティング(株) 佐々木 光一氏
映像部会入部の件**

資料-6

中川専務理事より資料-6に基づき、賛助会員 A ウシオライティング(株) 佐々木 光一氏映像部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 5 月 12 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A ウシオライティング(株) 佐々木 光一氏映像部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 7 号議案 賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山下 修氏
音響部会退部の件**

資料-7

中川専務理事より資料-7に基づき、賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山下 修氏 音響部会退部の件について説明があった。

令和 5 年 5 月 24 日付で部会退部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山下 修氏 音響部会退部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 8 号議案 賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山田 伸氏
音響部会入部の件**

資料-8

中川専務理事より資料-8に基づき、賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山田 伸氏 音響部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 6 月 1 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A (株)オーディオブレインズ 山田 伸氏 音響部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 賛助会員 B 衛藤 達徳氏 映像部会入部の件

資料-9

中川専務理事より資料-9に基づき、賛助会員 B 衛藤 達徳氏 映像部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 7 月 14 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 衛藤 達徳氏 映像部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 Inter BEE 2023 ブース出展による広報活動の件

資料-10

中川専務理事より、資料-10に基づき Inter BEE 2023 ブース出展による広報活動の件について説明があった。

11 月 15 日～17 日に千葉市・幕張メッセ会場、11 月 6 日～12 月 15 日にオンラインで開催される。協力団体は、展示ブースを無償で 1 コマ使用出来るということで、来場者に JATET の活動を広報するとともに、来年度以降の JATET 劇場演出空間技術展を Inter BEE の会場で開催することも考慮して、JATET の活動内容が分かる展示を行う。これに併せて、新規会員の獲得も目指したいと考えている。

展示内容の案としては、JATET の活動内容を紹介するパネル展示、JATET フォーラム・技術展のセミナー映像のデモを考えている。JATET 誌、JATET ジャーナルは閲覧資料として展示し、JATET 誌は最新号（92 号）を紹介するとともに、事務所保管部数のあるバックナンバー号は持ち帰り自由とする。JATET 規格は閲覧資料として展示する。

今年度の事業の一環となるので、今後 10 月中旬を目処に事業担当副会長の永井理事、広報部会長の西理事に参画いただいて、取りまとめていきたい。

ブース内の装飾については、Inter BEE としてのパッケージディスプレイを検討する。

11 月 14 日に搬入、仕込み、ブース内のセッティング・チェック、15 日～17 日が本番、17 日は 17：00 以降からバラシ、搬出、片付け作業となる。

今後、出展者の情報を登録するが、広報部会及び他部会の皆様にも協力いただきたい。

各部会から協力いただく必要があるので、この理事会で承認を得られれば 8 月 28 日（月）の事業執行連絡委員会で審議し、各部会にて人選をお願いするのが良い。（永井）

広報部会は委員が 8 名で 2 名は大阪なので東京は 6 名となり、マンパワー的に多くの人員は出せない状況にある。他の部会にも協力いただきたい。（西）

中川専務理事の説明の後、Inter BEE 2023 ブース出展による広報活動の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 JATET フォーラム 2022/23 午前の部のプログラム公開の件

資料-なし

中川専務理事より JATET フォーラム 2022/23 午前の部のプログラム公開の件について説明があった。

JATET フォーラム 2022/23 について現在、3 月 17 日午後の部の各部会セミナーをアーカイブ配信中である。当初から著作権などの関係で、午前の部の基調講演、ST2110 研究会発表、パネルディスカッションについては有料でのアーカイブ配信は行わないこととして進めてきた。

アンケート調査結果にも出ているが、シンポジウムでの劇場運営サイドの方々とメーカーサイドとの意見交換は非常に有意義であったと評価をいただいている。

今回、平井映像部会長から、午前の部のシンポジウムについて基調講演をお願いしたキャ

メロン・オニール様、パネルディスカッションに参加された皆様に確認したところ、発表した内容を JATET が公開することについて許諾をいただいたと連絡があった。については、午前のプログラムを You Tube で無料公開したらいかがか？

7月の事業執行連絡委員会では、午前の部を無料公開するのであれば、現在有料配信中の午後の部会セミナーも無料で公開したらどうか？と意見があった。

事務局としては、現在配信中のものは約1ヶ月後の9月23日には配信終了となる予定で、今から会員や協力団体の皆様に対して、配信中止の案内を出して、無料配信に切り替えるのは控えたいと考えている。このまま予定期間中は現在のまま配信を継続し、午前の部を今後無料公開することになれば、9月中～末に公開する方向で進めていきたい。本日は、午前の部のシンポジウムを無料で公開する件について是非をご審議いただきたい。

YouTubeでの無料公開は良いと思うが、次回以降のフォーラムセミナーで同様の動きになると、会場でのリアル参加者が減ることにならないか懸念がある。(永井)

YouTubeだけでは満足できないリアルな良さを作っていけるかを考える。(伊東)

パナソニックもリアルのセミナーを開催しているが、ここ2年くらいは人を呼べず配信にした。配信でも多くの皆様に参加いただいたが、リアルでみたいという声が圧倒的に強い。昨年から人数を制限してリアル開催に戻しているが、お客様の反応はリアルの方が良いという意見が多く出ている。

配信については全部を流さずに、半分くらいを無料で見せて全部見たい人は有料にするなど、プレミアム公開のようなテクニックもある。ある程度、プレミアムな部分もあって、産業振興という意味ではリアル開催の良さも必ず残ると思う。(横井)

中川専務理事の説明の後、JATET フォーラム 2022/23 午前の部のプログラム公開の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第12号議案 ITEAC2023 JAPAN 告知、協力依頼の件

資料-11

中川専務理事より資料-11に基づき、ITEAC2023 JAPAN 告知、協力依頼の件について説明があった。

ITEAC2023については、すでに機構部会、映像部会からコンテンツの提供に協力させていただいている。ロンドンでは9月19日、20日の2日間の開催となるが、この度、一般社団法人日本劇場技術者連盟様のご協力により、ITEAC2023の正式な日本国内での直接会場として、9月19日(火)に国立能楽堂大講義室にて講演会及びシンポジウムが開催される。資料の説明：ITEAC2023 JAPAN チラシ、内容(案)、協力参加のお願い、事例紹介参加のお願いについて説明を行った。

長谷川理事からは、ITEAC2023 JAPAN への参加、話題提供、広報、協力、協賛のお願いをされている。協力参加のお願いについては、JATET 会員企業、各部会長にお願いして、会議への参加、協賛金援助、広告出展の可否を打診することを考えている。JATET としては、会議への参加による協力は可能と思う。事例紹介参加のお願いについては、各部会長に打診はできるが、当初のコンテンツ提供の時にすでに検討されているので、今から1万円(未定)の参加費を払って、9月8日の締切は厳しいと思われる。ITEAC2023の告知、協力依頼についてご審議をお願いする。

このイベントが日本で開催できること自体がなかなか難しかった。コンテンツについては元々ロンドンの方のテーマがサステナビリティ、コミュニティ、デジタルだったので、JATET からはデジタルに関しての映像部会からのコンテンツ、機構部会からデジタル分野でのバーチャルな劇場の紹介、コミュニティに関して劇場技術者の講習についての映像をいただいた。既にロンドンには送付済みでロンドンの会場での公開が予定されている。

これとは別に、ITEAC JAPAN でもテーマとしては同じ内容のものになる。ロンドンのパディ・ディロン氏と相談して、サステナビリティについての話を大島氏にさせていただく。また、日本劇場技術者連盟の齋藤理事長のご提案で、公立劇場がコミュニティに関して様々な貢献をしていること、歌舞伎や文楽などもできるだけ広める活動をしてこられていることなどについての総括をする内容を考えている。その前に、話題提供を募集し、提供された話題として日本会場でプレゼンテーションされたものを録画してロンドンに送り、ロンドン側でのコンテンツとして公開されることになる。本理事会では、JATET が広報やコンテンツ提供に関する協力をするのをチラシなどに公開させていただくことについて決めていただきたい。(長谷川)

本議案では、JATET が ITEAC2023 についての告知と参加のお願いをすること、既に提出しているコンテンツに対して公表してよいか、JATET という公益法人が ITEAC に協力していることをチラシ等にかかせていただいてよいかを審議いただきたい。(伊東)

JATET としては、公益社団法人劇場演出空間技術協会が「協力」することをチラシなどに記載いただくこととしたい。

中川専務理事の説明の後、ITEAC2023 JAPAN 告知、協力依頼の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 (株) 梓設計 正会員 B 入会の件

資料-12

中川専務理事より資料-12 に基づき、(株) 梓設計 正会員 B 入会の件についての説明があった。

令和 5 年 8 月 21 日付で入会申込書が届いている。

建築の設計監理業務、関連する周辺業務を行っている。

中川専務理事の説明の後、(株) 梓設計 正会員 B 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 堀川 知行氏 賛助会員 B 入会の件

資料-13

中川専務理事より資料-13 に基づき、堀川 知行氏 賛助会員 B 入会の件について説明があった。

令和 5 年 8 月 10 日付で賛助会員 B の入会申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、堀川 知行氏 賛助会員 B 入会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 15 号議案 賛助会員 B 堀川 知行氏 建築部会入部の件

資料-14

中川専務理事より資料-14 に基づき、賛助会員 B 堀川 知行氏 建築部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 8 月 22 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 堀川 知行氏 建築部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 16 号議案 賛助会員 B 山下 修氏 音響部会入部の件

資料-15

中川専務理事より資料-15 に基づき、賛助会員 B 山下 修氏 音響部会入部の件について説明

があった。

令和 5 年 8 月 10 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 山下 修氏音響部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 67 回定例理事会開催日程について

第 67 回定例理事会は令和 5 年 11 月 22 日（水）14 時から開催予定とする。

2) 閉会

15 時 50 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 5 年 8 月 24 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 66 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬勝一	
議事録作成署名人（西 豊彦）	西 豊彦	

第 67 回 定例理事会

議 事 録（正）

令和 5 年 11 月 22 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第 67 回 定例理事会 議事録（正）

日 時：令和 5 年 11 月 22 日（水）15:00～15:46

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
永井 烈 副会長（事業担当）、
清水 康裕 副会長（財務担当）、
西村 岩夫 副会長（総務担当）、
中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）

Web 出席理事：小川 幹雄 理事（国際渉外担当）、
西 豊彦 理事（コンプライアンス担当）、
青野 時彦 理事、西奈美 博 理事、長谷川 祥久 理事、
森 健輔 理事、横井 裕 理事

欠席理事：なし

出席監事：尾澤 輝行（Web）

欠席監事：間瀬 勝一

有効理事総数 12 名、出席理事 12 名、欠席理事 0 名
出席率 100% 監事 1 名、事務局（1 名）、計 13 名

議事録署名人（書記）横井 裕

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12 名中、12 名の出席、監事 1 名、事務局（1 名）にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 永井 烈 副会長 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

第 1 号議案	インボイス制度の件	資料なし
第 2 号議案	電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件	資料-1
第 3 号議案	JATET 誌 HP ダウンロードの件	資料-2
第 4 号議案	正会員 A (株)NHK アート 時本 健輔氏 映像部会入部の件	資料-3
第 5 号議案	正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会入部の件	資料-4
第 6 号議案	「世界劇場会議国際フォーラム 2024 in 長久手」後援名義使用許可の件	資料-5
第 7 号議案	水戸市民会館 施設見学会開催の件	資料-6

5. その他

- 1) 第 68 回定例理事会 開催日程 (2 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が横井 裕 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 66 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 5 年 8 月 28 日（月）14:00～ 第 87 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 9 月 28 日（木）14:00～ 第 88 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 10 月 26 日（木）14:00～ 第 89 回事業執行連絡委員会を開催した。

2) 事業報告

永井 烈 副会長（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ JATET 誌 92 号から新たに見学会レポートの記事を出すこととなり、記事内容を見学会先に確認し承認されるまでに時間がかかるため、原稿執筆の進め方については、一度見直しし事務局から各部会に広げスムーズに進む方策を検討していく。
- ・ 今年度中に開催を計画している施設は、岡山芸術創造劇場、水戸市市民会館、東京ガーデンシアターの 3 施設であったが、岡山芸術創造劇場の見学は、今年度見送りとし、水戸市市民会館は来年 1 月 31 日で見学会を予定している。東京ガーデンシアターは、民間施設のためメンテナンスを行っている日にしか見学会を計画できず、1 月 9 日～11 日しか空がないこと、また、契約外の人が建物に立ち入ることになるので、管理費用が実費で 14 万ほど必要になることなどがあり、今年度は見学会を見送ることとした。民間施設の施設見学の取組について、JATET の見学会の趣旨と照らし合わせながら費用の面も含めて、今後検討していくこととし見学会開催時の施設利用料の有償、無償の判断、それと、年間で収支が合う見学会の運用について、バランスを考えながら検討していくことにしている。
- ・ 来年度の見学会候補だった「小田原三の丸ホール」は来年 2 月 22 日に見学会を実施する。第 89 回事業執行連絡委員会で執行理事の承認を受け、見学会の準備を進めている。
- ・ 来年度の施設見学計画として、候補に挙げられているのは、秋田芸術劇場、石巻総合文化施設、茨木市民会館、磐田市文化会館があり、今年度見送った東京ガーデンシアターも含め、希望の多いアリーナの新設施設を折り込みながら、3～4 館に絞り込んで、来年度の事業計画をまとめる方向で進めている。
- ・ JATET ジャーナルについて、那覇文化芸術劇場なは一との原稿は、進展していない。高崎芸術劇場は執筆依頼済。来年 6 月頃の発行予定。やまぎん県民ホールは執筆先を検討している。
- ・ 教育研修部会のメンバーは、舞台照明、舞台機構、舞台音響の会社の集まりであり、見学会の申し入れや、資料をまとめる際に、舞台照明、舞台機構の会社はそろっているが、舞台音響の会社は 1 社なので、うまくいかないことがある。音響系の会社を増強したいという話があったため、声掛けをしていく方向で進めていく。

建築部会では、

- ・ 建築部会での今年度のテーマとして、1 つ目は劇場ホールのガイドラインの制定と、2 つ目は東京消防庁主導の東京都の火災予防条例の改正に向けて、JATET の意見を求められること

が想定されているので、JATET としての意見を取りまとめていくことも必要であることを確認した。これらを並行して進めることは実質的に無理があるため、ワーキンググループを作り、火災予防条例の改正対応を優先する。

前回の火災予防条例の改正の際にも JATET はかなり関与し、JATET から意見を提出して地下の劇場計画の規制で、深さ 6 メートルまでであったところが、緩和された。また、コンチネンタルスタイル客席で、それまで 12 席までだったところが緩和された。

- ・東京消防庁の火災予防条例改定への取組の報告として、伊東会長が第 1 回目の検討委員会に参加され、東京消防庁では、東京都の消防火災予防条例の改定で、オールスタンディングホール、ライブハウスなどのルールを決めようとしている。元々オールスタンディングという想定が世の中になかったため、現状は劇場の立見席の考え方が、各自治体、ホールごとに基準の読み方が異なることもあり、一定の基準を作って、オールスタンディングの客席の取り方についての条例を作ろうとしている。東京消防庁は、現行法規に合わないところについては協議し、条例を改定することを主旨としている。実証実験を渋谷ヒカリエホールに 150 人のエキストラを集めて、11 月 21 日に予備実験、12 月に本実験を行う予定となっているので、ご興味のある方、ぜひ、見に来ていただきたい。

機構部会では、

- ・未来の駆動部は、特に進展していない。工場の見学、劇場の見学を行い、未来の駆動部を検討していこうと考えている。
- ・ライトブリッジの比較研究は、ライトブリッジの断面を年代ごとに並べてリストを作るフォームを作成し各機構メーカーに公技連に加盟している劇場をベースとして、ライトブリッジの断面リストの作成を依頼している。
- ・点吊り装置は、今回は進展ないが、ドイツのバイロイトの祝祭劇場にも点吊り装置があるということで、その写真の方を共有して、比較検討を行っていく。
- ・舞台機構操作で使用する用語と操作ボタンの配置については、現状の意見をまとめて、部会で内容の確認を行い改訂へ進めていく。

照明部会では、

- ・部会員の角氏が、出席されなくなって 1 年経過したため退部扱いする旨連絡をしたが、返事はないので、退部手続きを進めている。
- ・JATET-L-7190 の改定について、一旦まとめたが、改めて確認をすると見直した方がいい箇所があり、見直しを行っている。
- ・第 45 回表示規格研究会を 7 月 25 日に開催、第 46 回表示規格研究会を 10 月 26 日に開催した。スポットライト等の話を主に進めており、照射の表記をどうするか、拡散、集光、スポット、フラットなどの用語の統一について議論している。
- ・EMC 研究会を 9 月 13 日に開催した。
ピンスポットでイグナイターを動かした時にインカムにノイズがのる話が、市場からも上がっており、10 月 19 日、20 日にウシオライティング(株)のつくばテクニカルセンターでノイズの実験を実施した。

音響部会では、

- ・結城部会長の代理として 9 月まで西村副会長に対応いただいていたが、10 月より結城部会長が復帰された。
- ・10 月 5 日に音響電源研究会を実施し、最近、200 ボルト電源の運用にあたって、コネクタが 100 ボルト用のものでも嵌合する運用をされていることがあり、非常に危険なので、注意喚起をすることにした。音響電源の指針を出す前に、JATET 推奨・200V 音響電源用コンセントという JATET が推奨する 200 ボルトのコネクタの種類、幹線、分岐回路を文書にまとめ、この文書を Inter BEE の事務局に提出し、注意喚起を促してもらうとともに、JATET のホーム

ページにも掲載して、注意喚起と法令順守を促した。

また、100V 用平行コンセントを使う事例も見受けられると連絡があり、注意喚起文書に追記することとし、修正版を発行した。

- ・舞台連絡設備研究会については、月に1回か2回のペースで打合せを実施し、順調に進んでおり、年度内の指針発行を目指している。劣化診断については、一時中断している。

映像部会では、

- ・10月23日にオタリテックの事務所を提供いただき、講師に折笠氏を迎え、IPルーティングセミナーを開催し、Web出席も含め20名以上が出席した。
- ・Inter BEEに提供いただくプロジェクターや諸々の機材に関する動産保険を掛けるために機材リストと実売価格をまとめた。

広報部会では、

- ・新会員資格の課題と、JATET 誌のダウンロード問題について、正会員、賛助会員の下に、下部組織のような形でユース会員を設け、学生や若年層の人を対象とする案や、Web 登録会員を設け JATET の Web の閲覧ができて、JATET のことを知ってもらい、ゆくゆくは会員になってもらえるような会員制度の提案があった。ユース会員については、例えば専門学校等に対して、就職情報を提供するなどのメリットをつけて行ったら良いのではという話もあった。
- ・JATET 誌のダウンロード問題については、約1年間ダウンロードを中止しており、著作権上の問題、会員の受益について多方面より検証しなければならないが、特に問題なのは写真関係で、写真家のクレジットがついているものがあるため氏名、メールアドレス、職業などの情報を記入して、掲載無用の誓約書に同意してもらった上で、ダウンロードするようにすれば、再開しても良いのではないかという意見があった。
- ・JATET 誌 93 号の特集テーマ等執筆依頼について、昨年、ようやく新型コロナウイルスのパンデミックが収まり施設が使えるようになり、今年は、いよいよ本番を迎え K アリーナもオープンする。特集を組むにはいいタイミングであり、ターゲットは音楽を考えて、常設の音楽用スピーカーを設置しているような施設を特集する予定で進めている。編集委員会と事業執行連絡委員会がイコールになると思うため、特に問題がなければ、本日を第1回目の編集会議として、事業執行連絡委員会のたびごとに事業執行連絡委員会に続けて編集委員会を来年2月までに3～4回開催して内容をまとめていく。

イ. JATET フォーラム 2022/23 について

・2023年3月17日に内幸町ホールにて約4年ぶりにリアル開催となった「JATET フォーラム 2022/23」午後のプログラムをイープラス「Streaming+」にて9月23日までアーカイブ配信したが、視聴券販売枚数は合計18枚となった。企画内容や周知の方法などを今後見直していきたい。

・午前中の基調講演、シンポジウムの動画配信は、著作権等の関係上、配信しないということにしていたが、非常に有益な内容であったという意見があり、午前のプログラムは、現在YouTubeで無料配信している。

ロ. JATET 誌 (92号・93号) について

・JATET 誌 92号は、「JATET フォーラム 2022/23 総括」と「続・ホール運用の聞き取り調査」を特集し、9月中旬に発行した。

・JATET 誌 93号は、来年2024年2月下旬頃の発行に向け、準備を進めている。

JATET 誌広告掲載依頼書は11月10日に発送済。

今号は、「大型音楽施設」について特集する。

ハ. JATET ジャーナル (20 号・21 号) について

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は、未提出の原稿があり引き続き、原稿提出依頼を進めていく。
- ・「高崎芸術劇場」を特集としたジャーナル 21 号は、原稿執筆依頼書、承諾書をお送りしており来年 6 月頃の発行予定である。

ニ. ITEAC 2023 JAPAN 開催報告

- ・9 月 19 日に ITEAC 2023 JAPAN が国立能楽堂で開催され、ロンドンの ITEAC 2023 と合わせて開催された。
- ・JATET として趣旨に賛同し、映像部会、機構部会よりコンテンツを作成し提出した。

ホ. Inter BEE 2023 ブース出展報告

- ・9 月 20 日に第 1 回目の担当者打合せ会議を実施した。
 - ・10 月 6 日にプロモーションビデオ分科会の打合せ会議を実施した。
 - ・InterBEE2023 へ協力名義を承認しており、協力団体は、展示ブースを無償で 1 コマ使用出来るということで 11 月 15 日（水）から 17 日（金）までの 3 日間、幕張メッセにおいて協会事業活動の広報を目的として出展した。主に JATET の所属会員の紹介、機関誌や JATET ジャーナルの展示、並びに JATET の幅広い活動の概要を動画にてご覧いただき延べ 100 名超の方々にお越しいただいた。
- 映像は平井部会長を中心に澤村氏、音響と音声は峰岸氏、ナレーターは海老塚氏のご協力のもと、5 分ほどの動画が完成した。機材提供、設営、動画の材料として写真等ご提出いただきました皆様、ご協力いただいた関係各所、ブース担当いただいた部会委員の方々には感謝申し上げます。

3) 財務報告

清水 康裕副会長（閲覧資料-財務報告）

- ・毎月、西村副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和 5 年度の会費再請求書をお送りし、11 月 30 日を締切としているが、現時点で正会員 C 2 名—が未納となっている。

4) 総務報告

西村 岩夫 副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。
- ・10 月 1 日より東京都最低賃金引き上げに伴いアルバイト賃金を 1,072 円から 1,113 円に引き上げて支払っている。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事

- ・前回 8 月の理事会では 6 月に開催された OISTAT の PQ2023 について報告したが、日本舞台美術家協会が 7 月にオンラインで 9 月にチェコ大使館で出展活動の報告会を開催したので出席した。OISTAT 日本センターも 9 月末にニュースを発行し PQ 本部会議の内容を報告している。他に 9 月の国立能楽堂での ITEAC2023、11 月の幕張メッセでの Inter BEE 2023 を拝観、拝聴した。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程について、後ほどご審議いただく。

- ・Inter BEE 2023 出展に際して、来場者等々の個人情報保護の観点から、プライバシーポリシーを出展者のホームページに掲載する必要があったが個人情報保護法についての規定、プライバシーポリシーにあたるのが、JATET の個人情報保護に関する基本方針となり、この基本方針の発行責任者が、以前の森会長のままで、発行年度も平成 27 年であった。そのため、会長、副会長と相談し、個人情報保護に関する基本方針の発行責任者を伊東会長とし、発行日を令和 5 年 4 月 1 日に改正し Inter BEE の JATET ページに掲載した。

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-内閣府情報)

イ. 内閣府情報

- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第 175 号 (8/23)、第 176 号 (9/6)、第 177 号 (9/20)、臨時号 (9/27)、第 178 号 (10/4)、第 179 号 (10/18) を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等 中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-経済産業省&総務省等)

- ・経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、マイナンバーカード活用等に向けた積極的な周知のご協力のお願いについて、インボイス制度に関する各種相談体制・支援策等について、自殺対策関係相談窓口、経営に関する相談について、2023 年度 NEDO 事業「ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発」に係る公募について、こども・若者の性被害防止のための啓発等について、「SX 銘柄 2024」の募集概要について、改正障害者差別解消法に係る説明会についての周知について書面が届いた。
- ・下請取引適正化推進月間 (11 月) への協力依頼が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料なし)

- ・8 月 31 日に第 240 号を発行した。主な内容は、JATET フォーラム 2022/23 アーカイブ配信について、Inter BEE 2023 JATET 出展ブースのお知らせ、ITEAC2023JAPAN のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
 - ・11 月 2 日に第 241 号を発行した。主な内容は、Inter BEE 2023JATET 出展ブースのご案内、JATET 誌 (92 号・93 号) について、200V 音響電源用コンセントについて、YouTube JATET チャンネル コンテンツ追加、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
- また、同日特別号として Inter BEE 2023 JATET 出展ブースのご案内を配信した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-会員情報)

- ・正会員 A (株)NHK アート 時本 健輔氏 映像部会入部 (審議事項)
- ・正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会入部 (審議事項)
- ・賛助会員 A カヤバ CS(株) 登録内容変更 (担当者変更)
- ・賛助会員 A 日本コーバン(株) 登録内容変更 (担当者変更)
- ・賛助特別 (株)スペース・ゼロこくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロ役員就任のお知らせ
- ・賛助会員 B 吉村 道彦氏 登録内容変更 (住所・勤務先)
- ・賛助会員 B 田中 伊都名氏 登録内容変更 (住所・勤務先)

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-諸団体情報)

- ・全国公立文化施設協会「2023 年全国公立文化施設名簿」協賛広告出稿のお願いが届いた。
- ・(公社) 日本照明家協会 法人認可 50 周年記念イベントのご案内が届いた。
- ・「プラハカドリエンナーレ PQ2023 報告会」のご案内が届いた。

- ・「日生劇場 第30回舞台フォーラム2023」後援名義使用許可のお願いが届いた。
※日時が11月10日で今回の理事会審議では間に合わないため執行理事に確認の上、承認の回答済である。
- ・「世界劇場会議国際フォーラム2024in長久手」後援名義使用許可のお願いが届いた。
(審議事項)
- ・第29回「ニッセイ・バックステージ賞」贈賞式案内・受賞者決定のお知らせが届いた。
- ・OISTAT News VOL.23のご案内が届いた。
- ・公益財団法人 公益法人協会 役員就任のお知らせが届いた。
- ・芸団協メールニュース：494号(8/15)、臨時号(8/21)、495号(9/1)、496号(9/15)、臨時号(9/22)、臨時号(9/25)、497号(10/2)、498号(10/16)、臨時号(10/19)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：144号(8/15)、145号(9/15)、146号(10/16)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

へ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-書籍販売状況)

規格販売状況 (別紙資料参照)

- ・2023年11月20日時点で280,500円の売上があった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術CDが一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-請求書情報)

- ・劇場等演出空間運用基準協議会年会費、テトラロジックスタジオ JATET92号編集代、長3封筒代、ブレイヴ JATET 誌 92号発送代行代、イープラス、JATET 誌 92号印刷代の請求が届いた。
- ・その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HPについて

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-HPアクセス解析)

JATET ホームページのアクセス解析・・・7月～9月までのHP閲覧状況を閲覧した。

- ・7月のページビュー数は2,256
- ・8月のページビュー数は2,409
- ・9月のページビュー数は2,667

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-事務局関連)

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・前回の理事会で部会の入部、退部手続きの件が話題になり、例えば、所属会社を退職して、部会を一旦退部、新たに個人会員に入会、部会入部の手続きを踏む必要があるが手続きの簡素化について事業執行連絡会でも議論された。現状、変更手続きの書式がないため会員登録内容変更届の書式に準じて、部会内の変更届の書式を事務局で検討している。
- ・来年度は2年に一度の選挙がある。現在、事務局で選挙管理委員会のメンバーを選任中である。2月の理事会では、選挙管理委員の皆様の承認をお願いしたい。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 インボイス制度の件

資料なし

中川専務理事よりインボイス制度の件についての説明があった。

本年 10 月 1 日から、消費税の適格証明書保存方式として、インボイス制度が施行・運用されている。今年 2 月 28 日に開催した第 63 回定例理事会にて、JATET としては適格証明書発行事業者の登録申請はしないことで承認されている。

基準期間の課税売上高が 1,000 万円以下の場合は免税事業者となるが、1,000 万円を超えた場合は消費税の納税義務が発生する。JATET では技術展などの大型事業を行わない年度は課税売上高が 1,000 万円を超えることはないことから、免税事業者のまま、適格証明書発行事業者の登録はしないこととした経緯となる。

しかし、現実には従来から、JATET 規格などの販売や広告料の請求時に消費税を徴収しており、課税売上高が 1,000 万円を超えない場合は、免税事業者として預かった消費税は益税として JATET の利益になっている。

10 月以降、実際に請求書を発行する際の消費税の取り扱いについて、尾澤会計事務所と相談したところ、消費税を預かる以上は、適格証明書発行事業者の登録申請を行うことが妥当であると説明を受けた。現在、適格証明書発行事業者の登録申請はしておらず、JATET の取引先は仕入税額控除ができないことになっており、今後、来年 4 月の新年度からインボイス発行事業者になるために 2 月頃に登録申請手続きをしていく方向で進めたい。インボイス発行事業者になると、課税事業者として、毎年度消費税を納税することになる。

・消費税の改正は、実質増税として国民全体に広く増税をするという意味で、消費税をのせずに済ませてしまうという企業体は国として認めないような形になりつつある。

取引先との関係もあるが、きちんと消費税をのせて請求し消費税を納めることが必要である（尾澤監事）

・課税事業者になっても簡易課税方式でも問題ないのか。また、税率は分ける必要はないのか（西理事）

・問題はなく、分ける必要はない（尾澤監事）

・色々資料をみると国の思惑として、益税として免税事業者が消費税を預かりながら消費税を納税しないということ事態も減らしていきたいようである。（中川専務理事）

・会計処理の会計ソフトはインボイスに対応しているのか（西村理事）

・現在使用しているソフトはインボイスに対応していないため、バージョンアップし変えていく必要がある。（中川専務理事）

・消費税の取扱について、広告を出す立場からすると会計上、適格証明書発行事業者になっていただいたほうがいい（青野理事）

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案 インボイス制度の件について審議に入り、来年度 4 月からインボイス発行事業者となるよう本年度末までに適格証明書発行事業者の登録申請を行うことで全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件

資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件について説明があった。

電子帳簿保存法は各税法で原則として紙での保存が義務付けられている帳簿書類について一定の要件を満たした上で電子データによる保存を可能とすること、および電子的に授受

した取引情報の保存義務等を定めた法律である。法改正により、2024年1月1日以降は紙で印刷した物ではなく、取引情報を原則データで、電子帳簿保存法の要件に則って保存する必要がある。一方、紙で保存する相当の理由がある場合の猶予処置も定められた。電子データの取引情報に係る電磁的記録を適正に保存するために必要な事項を、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程として作成した。

- ・ 施行日を2月ではなく、1月からでいいのではないかと（永井理事）
- ・ 対応は1月からで間に合うのか（西村理事）
- ・ 法令にあわせ1月から対応していく（中川専務理事）
- ・ 1月1日から対応していかなければならないと思う（永井理事）
- ・ 手続き上の問題は、協会内規定になるため今回承認をいただければすぐに対応していくということでよいか（伊東会長）
- ・ 協会内規定になるので特にHPには記載はしない（中川専務理事）

中川専務理事の説明の後、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件について審議に入り、附則の施行年月日を令和6年1月1日からに修正することで全員一致で可決承認された。

第3号議案 JATET誌HPダウンロードの件

資料-2

中川専務理事より資料-2に基づき、JATET誌HPダウンロードの件について説明があった。

昨年8月の第61回定例理事会にてJATET誌のホームページへの公開とPDFダウンロード問題について審議を行い、ホームページ上でのJATET誌のダウンロードは、その方式を見直すとして、ダウンロードは停止している。この件について、事業執行連絡委員会で数回に亘り協議を行った結果、ダウンロードに関する規約を作成して規約に同意いただいた上で閲覧やダウンロードができるようにする案が出て、事務局で規約の案を作成した。実際の運用では、ホームページからJATET誌の閲覧を希望する場合、先ず規約に同意していただいた上で、利用者登録画面に移行して、氏名、住所、所属先、メールアドレスを登録すると、IDとパスワードが発行される。会員は無料でダウンロード可能となる。非会員は有料とし、利用料金決済後に閲覧およびダウンロードができるようになる。ホームページ上での具体的な挙動は今後、Web担当者と詰めて進めたい。

- ・ JATET会員は登録すると閲覧・ダウンロードが出来て、非会員がダウンロードせずに閲覧だけしたい場合はどうなるのか（西理事）
- ・ 登録してもらい閲覧していただき、データ等必要な場合はダウンロードしてもらうという考えである（中川専務理事）
- ・ 規約の文章を読むとそのことの記載がなく、非会員は利用料金を払わないと閲覧もできないと捉えられてしまうので、文章の内容を整えてどういう流れなのか明確にしたほうがいい。非会員の方でも登録し規約に同意されるのであれば閲覧までは出来て、ダウンロードをされたい場合は料金を支払う流れではないのか（西理事）
- ・ 今の西理事の考えでいいかどうか。文書をそのまま読むと閲覧する場合でも料金を支払わなければならないととることが出来るのでそれがいいのか、閲覧は無料でダウンロードする時にだけ登録して料金を支払うということどちらがよいのか（伊東会長）
- ・ どういった内容がわからないのに閲覧だけ有料にするのはどうなのか。閲覧するのもスクリーンショットなど出来てしまうわけなので、規約には承諾をもらったほうがいい。（西理事）

- ・登録した人は閲覧が出来、ダウンロードしたい場合は有料になるということによろしいか（伊東会長）
- ・閲覧の一部まで見られて、その先を見たい場合は有料になるというものもデジタル新聞などある（永井理事）
- ・問題のないサンプルをみてもらうことは可能ではないのか（西村理事）
- ・JATET 誌は毎号テーマが異なる（永井理事）
- ・閲覧は目次を見せたほうがいいのか（中川専務理事）
- ・ID/パスワードを割り振るのは、自動でやるのか。自動でないと事務局ではやり切れないのではないのか（永井理事）
- ・自動にしていってほしい（西理事）
- ・1 回登録し料金を支払えばずっと使えるのか（伊東会長）
- ・JATET 誌の記事内容も毎号変わっているのだから 1 回登録して見られるのはまずいのではないのか（西理事）
- ・他でのダウンロードでも一度にたくさんダウンロードすることを禁止しているところもある（中川専務理事）
- ・サブスクではどうか。年間いくらと設定してはどうか。（西村理事）
- ・JATET 誌の月次号単位で価格設定するやり方もある。（西理事）
- ・儲けるのが目的ではなく、会員、非会員の差異をつけることが意図。（中川専務理事）
- ・第 3 条に「JATET 誌など」と記載があるが明確にしたほうがいいのか（西理事）
- ・JATET 誌のホームページのダウンロードは JATET 誌でもいいと思うが、JATET ジャーナルや JATET 規格もあるのであくまでも JATET 誌だけではなく著作権については JATET 誌以外の JATET で出しているもの全てに関わるという意味でこの表現にしている（中川専務理事）
- ・公益性を考慮すると、規格類は無料、技術論文は有料という考え方もある。議論すべき。（西理事）
- ・法人会員の場合は、所属のそれぞれのメールアドレスで登録してもらうことになるのか（西理事）
- ・申込の時点で会員・非会員の選択をしてもらうことになると思うが本当にその方が会員かどうか判断するのが難しいのではないのか。予め、法人会員、個人会員の方に会員に関して別途案内し共通の ID/パスワードを使用しログインするのはどうか（西村理事）
- ・企業 ID/パスワードを渡し企業で管理してもらったほうがいいのか（清水理事）
- ・企業 ID/パスワードを発行するにあたり誓約書を書いてもらい企業に運用してもらったほうがいいのか（西村理事）
- ・個人会員の方には、JATET に入会された時に ID/パスワードを渡したほうがいいのか（西理事）

中川専務理事の説明の後、JATET 誌 HP ダウンロードの件について審議に入り、ダウンロード規約の案は概ね了承を得たが、非会員については目次や記事概要の閲覧までは無料として、閲覧後にダウンロードを希望する場合は決済ページに進むようにする方が良いと意見が出た。ダウンロード規約を閲覧およびダウンロード規約とし、本件は今回は決議しないこととし、継続してホームページ上の具体的な挙動を検討して進めていくこととなった。

第 4 号議案 正会員 A (株)NHK アート 時本 健輔氏 映像部会入部の件 資料-3
中川専務理事より資料-3 に基づき、正会員 A (株)NHK アート 時本 健輔氏 映像部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 10 月 1 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員 A (株)NHK アート 時本 健輔氏 映像部会入部の件につい

て審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会入部の件 資料-4
中川専務理事より資料-4 に基づき、正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会入部の件について説明があった。

令和 5 年 9 月 11 日付で部会参加申込書が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員 C (株)永田音響設計 角崎 雄太氏 音響部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 「世界劇場会議国際フォーラム 2024 in 長久手」
後援名義使用許可の件 資料-5
中川専務理事より資料-5 に基づき、「世界劇場会議国際フォーラム 2024 in 長久手」後援名義使用許可の件についての説明があった。

世界劇場会議名古屋から、来年 2 月 28 日、29 日に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム 2024 in 長久手」の後援名義使用許可について申請が届いている。

中川専務理事の説明の後、第 6 号議案 「世界劇場会議国際フォーラム 2024 in 長久手」後援名義使用許可の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 水戸市民会館 施設見学会開催の件 資料-6
中川専務理事より資料-6 に基づき、水戸市民会館 施設見学会開催の件について説明があった。

来年 1 月 31 日 13 時からの開催を予定している。

- ・ 2 月 22 日にもう一つ見学会を予定しており、近い日時での開催となるため配慮が必要ではないかなどの意見も先に開催した事業執行連絡委員会ではあったが、いい機会なので実行したほうがいいと実施について賛成の意見であった。(伊東会長)
- ・ 見学会の実施については、理事会での審議が必要なのか。理事会は 3 ヶ月に 1 回のため承認を待つと先方にアポイントがとれて進める際、理事会に間に合わないケースがあると思われる。(永井理事)
- ・ 年度初めの事業計画の内容は理事会で既に承認されているので、個々の事業に関しては枠内であれば理事会審議をしなくてもいいのではないかと(西村理事)
- ・ 事業執行連絡委員会の中で報告し、そこで決議し理事会では報告だけでよいのではないかと(永井理事)
- ・ 水戸市民会館の見学会は急な話しであり、当初、建築学会の絡みもあったなど事務局判断で今回の理事会審議にさせてもらった経緯がある(中川専務理事)

中川専務理事の説明の後、水戸市民会館 施設見学会開催の件について審議に入り、理事会の審議事項とせず、報告事項とすることになった。

5. その他

1) 第 68 回定例理事会開催日程について

第 68 回定例理事会は令和 6 年 2 月 21 日（水）14 時から開催予定とする。

2) 閉会

16 時 46 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和 5 年 11 月 22 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 67 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東 正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤 輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	印
議事録作成署名人（横井 裕）	横井 裕	

第 68 回 定例理事会

議 事 録（正）

令和 6 年 2 月 21 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会（JATET）

第 68 回 定例理事会 議事録（正）

日 時：令和 6 年 2 月 21 日（水）15:00～16:45

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：伊東 正示 会長、
清水 康裕 副会長（財務担当）、
西村 岩夫 副会長（総務担当・事業担当代理）、
西 豊彦 理事（コンプライアンス担当）、
中川 堅司 専務理事（事務局統括、国内渉外担当）

Web 出席理事：小川 幹雄 理事（国際渉外担当）、
青野 時彦 理事、西奈美 博 理事、森 健輔 理事、横井 裕 理事

欠席理事：長谷川 祥久 理事

出席監事：尾澤 輝行（Web）

欠席監事：間瀬 勝一

有効理事総数 11 名、出席理事 10 名、欠席理事 1 名

出席率 90.9% 監事 1 名、事務局（1 名）、計 11 名

議事録署名人（書記）青野 時彦

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 11 名中、10 名の出席、監事 1 名、事務局（1 名）にて本理事会
は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 業務報告 | 伊東 正示 会長 |
| 2) 事業報告 | 西村 岩夫 副会長 代理 |
| 3) 財務報告 | 清水 康裕 副会長 |
| 4) 総務報告 | 西村 岩夫 副会長 |
| 5) 国際協力報告 | 小川 幹雄 理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 西 豊彦 理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川 堅司 専務理事 |
| 9) その他 | |

4. 審議事項

第 1 号議案	令和 6 年度事業計画の件	資料-1
第 2 号議案	令和 6 年度事業予算の件	資料-1
第 3 号議案	尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件	資料なし
第 4 号議案	総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件	資料なし
第 5 号議案	令和 6 年度通常総会懇親会開催の件	資料なし
第 6 号議案	令和 6 年度資金運用計画の件	資料-2
第 7 号議案	JATET 誌 94 号、95 号の件	資料なし
第 8 号議案	正会員 B (株) 日建設計 甚内 有紀氏 建築部会入部の件	資料-3
第 9 号議案	「第 2 回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件	資料-4

5. その他

- 1) 第 69 回定例理事会 開催日程 (4 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により、伊東 正示 会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出。出席理事の中から議長が青野 時彦 氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

伊東 正示 会長

下記の通り、第 67 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 5 年 11 月 22 日（水） 13:30～ 第 90 回事業執行連絡委員会、

令和 5 年 12 月 19 日（火） 15:00～ 第 91 回事業執行連絡委員会、

令和 6 年 1 月 23 日（火） 15:00～ 第 92 回事業執行連絡委員会、

令和 6 年 2 月 21 日（水） 13:20～ 第 93 回事業執行連絡委員会

を開催した。

2) 事業報告

西村 岩夫副会長 代理（各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ 1 月 31 日に水戸市民会館グロービスホール（大ホール）施設見学会を開催し 103 名の方に参加いただいた。
- ・ 2 月 22 日には小田原市民ホール（小田原三の丸ホール）施設見学会を開催する。79 名の方に申し込みをいただいております、広報部会西部会長には JATET 誌のレポート記事として取材いただく。
- ・ 次年度の見学先候補の平塚文化芸術ホールは、24 年度以降の再候補先として上げるという方向にしている。
- ・ 次年度見学先候補のあきた芸術劇場は、100 名規模の見学会が初めてのため、上層部へ相談と説明をしたいという意見があった。過去の JATET の見学会の趣旨書、見学先への依頼書等を参考に見せてほしいと要望があり、資料を提出した。
- ・ 教育研修部会への音響会社の入部について、教育研修部会には音響系の会員が少ないということでヒビノスペーステックにぜひ入部いただきたいと申し入れをしたところ、社内で確認したうえで、前向きに検討いただけることになった。

建築部会では、

- ・ 建築部会内で新たに立ち上げた劇場ホールのガイドライン、ワーキンググループのキックオフ会議の開催概要を報告した。他の技術部会にも声をかけて、条例改正のフォーマットを共有しながら、改正必要事項の情報を収集していく。
- ・ 劇場ホールの Wi-Fi 環境研究会は、現在、多くの設備、多くの用途で Wi-Fi が使われている状況で、要周波数帯の調整が図られていないことで、トラブルが発生している状況にある。これは電気設備、音響、照明、その他多くの分野に関わることから、建築部会が音頭をとって、関連技術部会、劇場の運営者、電気設備の設計者などを招聘して組織とすることを提案したが現会員に Wi-Fi 環境に関するメンバーがほとんどいないこともあり、積極的な賛同は得られず、継続協議となっている。
- ・ 伊藤建築設計事務所の川本委員から、2/28, 29 に世界劇場会議国際フォーラム 2024 の案内があった。テーマは、『劇場 100 年時代は来るのか。ハードとソフトの相関関係』となっており、講師として伊東会長を初め正会員 C の草加氏も出席予定である。

- ・東京都火災予防条例の改正に関しては、1月25日にスタンディングの避難実験を行い、2月9日、2月27日の検討委員会について告知した。2月の検討委員会には、JATET から伊東会長以外にも JATET 会員も出席できるということなので、検討委員会に出席し流れを把握した上で、建築部会での対応を検討することとしている。

機構部会では、

- ・海外視察の件、部会員が韓国の舞台機構メーカーと付き合いがあり、先方から、ぜひ見に来てほしいと要望があった。視察先は、韓国を予定しており、視察時期は5月～6月で検討している。
- ・ライトブリッジの比較研究は、サンケン・エンジニアリングとカヤバから資料が提出された。新国立劇場に展示してある年表を借り受けて、舞台機構の歴史とライトブリッジの変遷を纏める準備をしている。シアターオーブのライトブリッジは、松村電機製作所へ資料の提供依頼をしている。
- ・熊谷委員より、2月23日に世田谷パブリックシアターで開催される、舞台機構制御の未来図というテーマのセミナーについて報告があった。
- ・規格 JATET-M-4010-2 舞台機構操作で使用する用語と操作ボタン等の配置の指針は、修正を完了し最終版を3月に JATET ホームページにアップロードする予定である。
- ・2月14日で、機構部会の部会長の任期が2年経過するため、次期部会長の選任を進めている。

照明部会では、

- ・舞台関係は特に影響はないが、蛍光灯の製造販売期限が水俣条約の件で決まったことを情報共有した。
- ・EMC 委員会の活動として10月19日～20日に行った実験について部会内で共有した。引き続き実験を続けていき、調光卓の電源を入れて、大型プロジェクターを起動すると調光卓に不具合を起こすことがある事象を、実験の計画を立てて検証していく。

音響部会では、

- ・舞台連絡設備研究会を10月30日、12月6日、1月19日に Web 会議で開催した。連絡設備の構成の基本的な変更について、映像モニター設備、トークバック設備、音声モニター設備の文言を修正して研究会メンバーで回覧しており、次年度夏頃の改定発行に向けて進めている。シンポジウムも開催できるように検討している。
- ・音響電源研究会では、次年度、200 ボルト電源のエビデンスを集めるための実験を予定している。

映像部会では、

- ・InterBEE 向けに製作した JATET の PR ビデオは、ナレーション、音楽も入れて製作したものであり、次回の InterBEE でも、映像や写真の部分を差し替えながら、使用していきたい。また、コンテンツは、ポートレートモードの縦長となっているが、これを HD の横長にはめ込み、余白となる部分に字幕スーパーが入れば、海外に対しての PR もできると考えている。文の紹介文は、日本語の MC を字幕通訳で入れる案を考えている。
- ・SMPTE ST2110 研究会は10月23日に開催した ST2110 IP ルーティンセミナーの内容をホームページに掲載した。

広報部会では、

- ・JATET 誌 94 号以降どうしていくかについて協議した。
原稿の執筆依頼をかける前に、1～2 ヶ月の選定時間がかかるため、半年もしくは最低でも 5 ヶ月ぐらい前から企画をはじめなければならないことを確認した。

- ・次年度は、JATET リーフレットの改訂時期となっている。施設見学会、InterBEE 出展の内容を加え、体裁的には現在と同じフォーマットで改定していく。また、年号の変更、JATET 誌表紙の写真の入れ替えなどが変更箇所となる。
- ・JATET のホームページ上に、簡単な英文紹介を入れる話があり、英文紹介を追加して、お問い合わせフォームも英文フォームを設けていきたい。

イ. JATET 誌 93 号について

- ・広告掲載は 17 社の申込があり、「大型音楽施設」を特集テーマとして 2300 部印刷し、3 月初旬の発行予定である。

ロ. JATET ジャーナル (20 号・21 号・22 号) について

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は、未提出の原稿があり引き続き、原稿提出依頼を進めていく。
- ・「高崎芸術劇場」を特集としたジャーナル 21 号は、執筆者へ原稿執筆依頼書、承諾書をお送りしており今年 6 月頃の発行予定である。
- ・「やまぎん県民ホール」を特集としたジャーナル 22 号は、執筆者へ原稿執筆依頼書、承諾書を今月中に送付予定で今年 10 月頃の発行予定である。

ハ. ProLight & ProVisual2024 展示報告

- ・後援名義使用依頼があり、今回の理事会での審議では間に合わないため、第 91 回事業執行連絡委員会で執行理事に確認の上、承認いただいた。展示ブースを無償で 1 コマ使用出来るということで、2 月 14 日から 16 日までの 3 日間、東京ビッグサイトにおいて協会事業活動の広報を目的として出展し、主に JATET の所属会員の紹介、機関誌、パンフレットの展示を行った。今回初の試みとして、業界団体ラウンジというものを設けられていた。今どこの業界も、若い人たちが少なくなっていて、特に学生の来場者を増やすために就職活動に関わるイベントセミナーも企画されていた。

3) 財務報告

清水 康裕 副会長 (閲覧資料-財務報告)

- ・毎月、西村副会長、清水副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・年会費は正会員 C2 名の方が未納である。再々請求書をお送りしており納入期限を 2 月 29 日までとしている。
- ・令和 6 年度資金運用方針については、後ほど審議をお願いする。

4) 総務報告

西村 岩夫 副会長 (閲覧資料-事務局関連及び請求書等)

- ・事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧ください。

5) 国際協力報告

小川 幹雄 理事

- ・OISTAT 本部会議については、対面とオンライン会議を併用したハイブリッド会議が多くなっている。11 月には広報委員会と建築委員会が開催された。12 月には調査研究委員会のエンドイヤーミーティングが開催された。今年 1 月に技術委員会がオンラインで行われ、さらにインドで衣装のサブ委員会がツアーを募集して行われた。内容は、わかり次第報告する。

OISTAT 本部の会費 2024 年度分の請求書が届き、海外送金にて納付を完了している。
OISTAT 日本センターでは、総会代報告と OISTAT ニュース (Vol. 24 号) を発行し ABTT の
シアターショー2023 の報告を行った。
能登半島地震に対して韓国 KTL より JATET にお見舞いのメールが届いた。
JATET 元事務局長の久保田正彦氏が昨年 10 月にご逝去された。

6) コンプライアンス報告

西 豊彦 理事

- ・報告事項なし

7) 規程改訂作業部会報告

中川 堅司 専務理事

- ・ 11 月の定例理事会で審議いただいた電子取引データの訂正、及び削除の防止に関する事務処理規程という内容に関して、規定施行日を 2 月 1 日から、法律が施行される 1 月 1 日に合わせるようにとご指摘をいただいたので、規定施行日を 2024 年 1 月 1 日として発行した。
- ・ 閲覧するにはどこを見ればいいのか (西村理事)
- ・ 修正版を事務局より理事、監事の皆様へお送りしご覧いただく (中川事務局長)

8) 事務局報告

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-内閣府情報)

イ. 内閣府情報

- ・「事業計画書等の提出」の案内が届いた。
令和 6 年度事業計画書、予算書は 3 月末までに提出予定。
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第 180 号 (11/1)、第 181 号 (11/15)、臨時号 (11/21)、第 182 号 (12/4)、臨時号 (12/4)、臨時号 (12/7)、第 183 号 (12/14)、第 184 号 (12/27)、臨時号 (1/5)、第 185 号 (1/11)、第 186 号 (1/24)、臨時号 (1/31)、第 187 号 (2/7) を閲覧した。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-経済産業省&総務省等)

- ・経済産業省コンテンツ産業課より周知依頼として、下請取引の適正化について、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針 全国ブロック説明会への参加について、責任あるサプライチェーン等における人権尊重のための取組支援セミナーについての書面が届いた。
- ・インボイス制度の周知等についての協力依頼が届いた。

ハ. JATET ニュース発行について

中川 堅司 専務理事 (閲覧資料-なし)

- ・ 12 月 22 日に第 242 号を発行した。主な内容は、InterBEE2023JATET 出展報告、JATET 誌 93 号 広告掲載 募集中 (募集締切: 2024 年 1 月 12 日 (金))、水戸市民会館 施設見学会 開催決定 (2024 年 1 月 31 日 (水) 開催)、JATET 事務局 冬季休業のお知らせ、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。
- ・ 1 月 25 日に第 243 号を発行した。主な内容は、小田原市民ホール (小田原三の丸ホール) 施設見学会参加申込受付中、水戸市民会館 施設見学会 (2024 年 1 月 31 日 (水) 開催)、Pro Light & Pro Visual 2024 舞台演出に関わるプロのための照明・映像の専門展示会、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載

した。

- ・2月9日に第244号を発行した。主な内容は、小田原市民ホール（小田原三の丸ホール）施設見学会 参加申込受付中、ProLight&ProVisual2024 舞台演出に関わるプロのための照明・映像の専門展示会、水戸市民会館 グロービスホール（大ホール）施設見学会 開催報告、令和6年度 JATET 通常総会 5月21日（火）開催予定、令和6年度役員改選について【正会員のみ】、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

ニ. 会員情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-会員情報）

- ・正会員 A 丸茂電機 永井 烈氏 照明部会 退部
- ・正会員 B 日建設計 甚内 有紀氏 建築部会 入部（審議事項）

- ・正会員 A 丸茂電機 代表者変更

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

ホ. 諸団体情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-諸団体情報）

- ・全国公立文化施設協会より令和5年度の研究大会の報告書が届いた。
- ・照明家協会より2023年度 舞台・テレビジョン照明のための公開講座開催案内が届いた。
- ・『第2回伊藤熹朔記念賞』後援名義使用のお願いが届いた。（審議事項）
- ・芸団協メールニュース：499号（11/1）、臨時号（11/2）、500号（11/15）、臨時号（11/20）、501号（12/1）、502号（12/15）、503号（1/5）、504号（1/15）、505号（2/1）、臨時号（2/5）、506号（2/15）
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：147号（11/15）、臨時号（12/4）、148号（12/15）、臨時号（1/10）、149号（1/15）、臨時号（2/1）、150号（2/15）

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

ヘ. 書籍販売状況

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-書籍販売状況）

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・2024年2月20日時点までで351,000円の売上があった。
- ・吊物機構安全指針・同解説と床機構安全指針・同解説及びプロオーディオ音響技術CDが一般、会員を合わせ多く販売している。

ト. 請求書情報

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-請求書情報）

- ・テトラロジックスタジオよりウェブサイト管理、JATET ニュース配信、OISTAT 年会費、総会会場費、InterBEE 関連として、リース品の支払い、PR ビデオを制作、ナレーターと作曲家より請求が届いた。
- ・その他は毎月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-HP アクセス解析）

JATET ホームページのアクセス解析・・・10月～1月までのHP閲覧状況を閲覧した。

- ・10月のページビュー数は2,650
- ・11月のページビュー数は2,442
- ・12月のページビュー数は2,417
- ・1月のページビュー数は2,906

リ. 事務局関連

中川 堅司 専務理事（閲覧資料-事務局関連）

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・事業担当の永井副会長は、12月末で所属していた会社を退職され、JATETの理事を辞任、照明部会を退部された。永井理事辞任に伴う登記変更手続きは完了しており、内閣府へ変更届も提出済みである。
- ・「選挙管理委員会委員の推薦の件」について、1月末～2月初めには選挙管理委員会を開催するため本日2月の理事会を待たずに、理事会決議の省略手続きにて、書面審議を実施した。

令和6年度の選挙管理委員は、

- 選挙管理委員長（正会員 B）佐野 吉彦氏、
- 選挙管理委員（正会員 A）畑中 祐介氏、
- 選挙管理委員（正会員 A）西尾 榮男氏、
- 選挙管理委員（正会員 C）桂川 潤次郎氏、
- 選挙管理委員（正会員 C）湯澤 薫氏の5名となる。

- ・2月9日に第1回選挙管理委員会を開催し、書類等を確認修正し3月初旬ぐらいに選挙関連の書類を正会員の皆様に送付予定である。
- ・「令和6年度通常総会の開催並びに開催方法、日時、場所の決定に関するご提案」について、会場候補のエッサム神田の空き状況を調べたところ、昨年使用した3階の会議室は予約、仮予約が入っていたため、こちらについても本日2月の理事会を待たずに、理事会決議の省略手続きにて、書面審議を実施した。
- ・「選挙管理委員会委員の推薦の件」「令和6年度通常総会の開催並びに開催方法、日時、場所の決定に関するご提案」は、1月18日までに、理事の全員から文書による同意する旨の意思表示がされ、併せて監事からは異議のない旨の確認をいただいた。定款に基づいて理事会の決議があったものとみなされ経緯を議事録に纏めた。
- ・能登半島地震 施設被災状況 調査取組について、事務局から1月9日に会員の皆様にメールで被害状況の報告依頼をし各社から被害状況報告があった。JATETでは、東日本大震災、熊本地震など、これまでに大きな震災が起きるたびにフォーラムで被害状況の報告をしてきた。公益法人として、今回発生した能登半島地震の対応をどのようにしていくかは、理事会と事業執行連絡委員会で意見をいただきながら、整理していく。
- ・所属会社を退職して、部会を継続する場合の手続きの簡素化について、11月の理事会で報告をしていたが事務局で「部会登録内容変更届」を作成した。今後はこのフォーマットで手続きをしていく。

- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

- ・「部会登録内容変更届」フォーマットは、どこで見れるのか（西村理事）
- ・HPに掲載する（中川事務局長）

4. 審議事項

第 1 号議案 令和 6 年度事業計画の件

資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 1 号議案 令和 6 年度事業計画の件について説明があった。

総会議案書に入れる第 1 号報告として、令和 6 年度事業計画書の案を示す。

令和6年度の事業活動は、令和4年6月1日に改正した定款に基づき、令和6年5月21日に開催予定の通常総会で再編する組織体制にて、新たな役員を選任して事業を推進する年度となる。令和6年度は、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた本会の運営を立て直すとともに、急激な国際社会の変動を確実に捉え、新しい潮流を敏速に取得し本会の公益事業に反映する。

以降の説明についての詳細は資料-1 のとおり。

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案 令和 6 年度事業計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

3 月末日までに内閣府に、令和 6 年度の事業計画として申請する。

第 2 号議案 令和 6 年度事業予算の件

資料-1

中川専務理事より資料-1 に基づき、第 2 号議案 令和 6 年度事業予算の件について説明があった。

総会議案書に入れる第 2 号報告として、令和 6 年度収支予算書の案を示す。

令和 6 年度は、受取入会金として、正会員 A1 社、正会員 B 1 社、正会員 C 1 名、賛助会員 A 2 社、賛助会員 B 2 名の入会を想定している。会費は正会員 B の入会が 2 社あり、正会員 A が 18 社、正会員 B が 9 社、正会員 C が 26 名、賛助会員 A が 27 社、B が 33 名、賛助会員特別が 9 団体となる予定で、新規入会想定分を合せて、合計 16,235,000 円となり、入会金との合計は 17,085,000 円となる。

事業収益は、フォーラムの開催収益として 400,000 円を計上した。参加費を 4,000 円として、参加者を 100 名と想定している。

発刊物の販売収益は 500,000 円、施設見学会は、教育研修部会の計画として 3 施設を考慮しており、見学会資料代として、1,040,000 円の収益を予定している。JATET 誌の広告収益は、年間 2 号の発行で各 20 社からの広告掲載を想定して、1 号あたり 4,000,000 円で合計 8,000,000 円としている。事業の収益としては 9,940,000 円となり、入会金・会費収入を加えた経常収益の合計は 27,025,000 円となる。

資料 2-2 に事業費の内訳を示す。給料手当は今年度と同様としている。部会費は、各部会からの予算金額をそのまま入れてあり、合計金額は 2,430,000 円となる。JATET フォーラム開催費は、会場費その他の経費で 1,000,000 円を予算として見ている。Inter BEE 展示開催費として、今年度の実績を元に 400,000 円を計上した。

JATET ジャーナルは、見学会の開催以外の施設も紹介する方針の基で 1 号は 2022 年度の 1 施設分、今年度の実施施設分 3 号、来年度の 3 施設分として 3 号の合計 7 施設の発行を目指して 1,050,000 円を計上した。ホームページ運用費は、例年 45 万円ほどを見ているが、今期に議論した Web ページの改修費用として 1,000,000 円程度を計上して、1,500,000 円としてある。JATET NEWS 発行費は例年通りとした。

海外交流費は、OISTAT 会費、その他で 200,000 円、国内交流費は、全国公立文化施設協

会、基準協その他で100,000円とした。施設見学会費用は、教育研修部会の予算に合せて1,020,000円としている。JATET誌発行費は2,500,000円×2回で5,000,000円を計上している。

福利厚生費その他の項目は例年並みとしている。

資料2-3に管理費の内訳を示すが、ほぼ固定費的に出ていく内容で、今年度とほぼ同様の金額を計上している。資料2-1に戻って、事業費の合計が24,330,000円、管理費が6,872,000円となり、経常費用の合計は31,202,000円となる。経常増減額はマイナス4,177,000円ほどとなり、今後の会員の増強を図っていかないと厳しい状況にある。

中川専務理事の説明の後、第2号議案 令和6年度事業予算の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

3月末日までに内閣府に、令和6年度の事業予算として申請する。

第3号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件

資料なし

中川専務理事より第3号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件について説明があった。

役員選任規程では、(役員の選任)「第6条 役員(理事及び監事)は定款第27条の定めにより、社員総会において、正会員(法人又は団体の場合にあつては、会員代表者とする。以下同じ)のうちから選任する。ただし、特に必要があると認められる場合は、理事にあつては2人、監事にあつては1人を限度として、理事会の承認を得て推薦された者が、総会の選挙で当選した場合に限り、正会員以外の者を理事又は監事に選任することを妨げない。」と規定している。従って、尾澤監事に引き続き来期の監事をお願いするのであれば、本理事会の推薦が必要である。

中川専務理事の説明の後、第3号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第4号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件

資料なし

中川専務理事より第4号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について説明があった。

定款では、(書面表決等)「第21条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。3 第1項の場合における前2項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない」とあるので、本理事会で審議に諮る。

中川専務理事の説明の後、第4号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 令和 6 年度通常総会懇親会開催の件

資料なし

中川専務理事より第 5 号議案 令和 6 年度通常総会懇親会開催の件について説明があった。

令和 6 年度通常総会は、エッサム神田で 13 時 30 分から開催予定である。
懇親会は 4 年振りの開催となるが、場所は神田駅周辺で検討し会費制としたい。
総会の中で 2 年に一度の選挙もあり、終了予定は 17 時頃としているが、その後に懇親会を開くかどうか審議に諮る。

中川専務理事の説明の後、第 5 号議案 令和 6 年度通常総会懇親会開催の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 令和 6 年度資金運用計画の件

資料-2

財務担当の清水副会長より資料-2 に基づき、第 6 号議案 令和 6 年度資金運用計画の件について説明があった。

令和 6 年度の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和 6 年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱UFJ 銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行の 3 銀行の普通預金、定期預金での運用を原則とする。
2024 年 1 月 31 日現在の現預金残高は方針書に示した通り。残高合計は、7,994,137 円となっている。

清水副会長の説明の後、第 6 号議案 令和 6 年度資金運用計画の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に今年度の特定費用準備資金の積立について伊東会長より下記のとおり報告があった。

今年度の特定費用準備金の積立について提案する。事務局及び尾澤会計事務所にて今年度の決算見込みを確認した。今年度は、技術展、フォーラムの開催が出来ず、公益目的事業比率は 45.1%の予想となる。特定費用準備金は、将来の特定の活動の実施のために特別に支出する費用にかかる支出に充てるために保有する資金であり、目的外使用は出来ず、積み立てた額は計画した通りに取り崩すことが求められ、公益目的事業比率を 50%以上確保するため、年度内に 2,500,000 円程度を積み立てたいと考えている。
また、今年度取崩予定であった 2,000,000 円はフォーラム、技術展を開催していないため次年度に持ち越しとなる。

伊東会長の説明の後、特定費用準備金の積立については、2 年後の事業に向け積み立てることで進めていくことになった。

第 7 号議案 JATET 誌 94 号、95 号の件

資料なし

中川専務理事より第 7 号議案 JATET 誌 94 号、95 号の件について説明があった。

例年でいくと年間 2 号発行のため、JATET 誌 94 号は夏頃、JATET 誌 95 号は冬頃の発行となる。

92号からは、編集担当として広報部会に積極的に関わっていただき、94号、95号についても広報部会内で特集の内容についての議論があり、94号はコロナにより、地方のホールで見学会の対象にならなかったものを特集する案が出ている。特集に合わせた部会を選定するのか、過去のように部会持ち回りで担当するかを審議に諮る。

- ・技術的に纏った内容があれば部会が担当するのが良い。その一方で2年に1度は新しく出来たホールの特集も必要かと思う。
93号の特集は「大型音楽施設」であったが、それ以外の地方のホールでも新しく出来ているのでそれを特集するのが妥当ではないかと思う。これを実行するとなると、主に建築部会が担当することになる。ただ、それ以外の記事を載せていけないことはないので各部会で載せたい記事があれば掲載していただきたい。
ある程度、特集するものがあれば技術系部会に手を挙げてもらい特集テーマにすることideいかがか。皆さんのご意見を伺いたい。(西理事)
- ・92号から編集担当として広報部会が積極的に関わっていただいているので、特集の内容についても広報部会にイニシアチブをとっていただきやっていただくのがいいのではないかと思う。広報部会の内容によっては技術系部会も参加する形がいいのではないか。(伊東会長)
- ・技術系部会も技術革新が大きいところとそうでないところもある。そうでない部会が持ち回りになった場合大変になるということが過去にあった。地震の被害報告も入る可能性がある。(西理事)
- ・部会持ち回りは賛成ではない。理由として、部会の中で大きなテーマを取り上げることになるが、他部会でテーマの内容についていけないということがあり、JATETの組織として温度差が出てくるので出来るだけ避けたい。(西村副会長)
- ・このテーマは何度か事業執行連絡委員会の中でも編集のプロに入っていただき、記事の内容、誌面の構成の面でより良いJATET誌になるのではないかと議論している。
多少、金額が掛かったとしてもそうすべきであり部会持ち回りはやめて広報部会が中心となりその時期に適したテーマに関わる部会が協力するスタイルが最もふさわしいのではないかと思うが皆さんいかがか。(伊東会長)

伊東会長の提案の後、今後のJATET誌の編集については広報部会が主体的に関わり、関係する技術部会が参加をするということで進めていくことに全員一致で可決承認された。

第8号議案 正会員B(株)日建設計 甚内 有紀氏 建築部会入部の件 資料-3
中川専務理事より資料-3に基づき、第8号議案 正会員B(株)日建設計 甚内 有紀氏 建築部会入部の件について説明があった。

令和5年11月28日付で部会参加申込書が届いた。既に建築部会にオブザーバーとして参加いただいている。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 正会員B(株)日建設計 甚内 有紀氏 建築部会入部の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第9号議案 「第2回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件 資料-4
中川専務理事より資料-4に基づき、第9号議案 「第2回伊藤熹朔記念賞」後援名義

使用の件についての説明があった。

2022 年 4 月に「第 1 回伊藤熹朔記念賞」が開催され、その際にも後援名義使用について承認している。

中川専務理事の説明の後、第 9 号議案 「第 2 回伊藤熹朔記念賞」後援名義使用の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 69 回定例理事会開催日程について

第 69 回定例理事会は令和 6 年 4 月 18 日（木）13 時 30 分から開催予定とする。

また、令和 6 年度通常総会は 5 月 21 日（火）13：30 より開催予定である。

2 年に一度の選挙もあるため、総会后、臨時理事会を開催するので理事、監事の皆様には日程の確保をお願いする。

2) 閉会

16 時 45 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和6年2月21日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第68回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 伊東正示）	伊東正示	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（青野時彦）	青野時彦	